

TM-2483

プリンタ ターミナル

取扱説明書



ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

- ・ 2008 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載している商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号を表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他

 お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。
---	-------------------

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

プリンタ ターミナル (TM-2483) を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取扱ください。この注意事項は、機器の安全な取扱いの他、患者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

 危険	
	<ul style="list-style-type: none">可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

 注意	
	<p>下記の使用環境、保管場所でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">水のかからない場所。高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。設置：温度 +10℃～+40℃、湿度 30～85%RH（結露なきこと）の場所。保管：温度 -20℃～+55℃、湿度 95%以下の場所。機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠注意	
!	<ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。■ 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険な状態になる恐れがあるので、接続の際は安全性を再点検すること。■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。■ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してから使用すること。 本書にはそれらの注意事項は記載していません。■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
⊘	<ul style="list-style-type: none">■ 通信ケーブルコネクタに指定の血圧計以外は接続しないこと。

乾電池の取り扱いについて

⚠注意	
!	<ul style="list-style-type: none">■ 電池は電池ホルダ内の表示に従って+、-を正しくセットすること。■ 使い切った電池はすぐに取り外し、6本同時に新しい電池と交換すること。■ 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外すこと。 液漏れなどを起こし、本体を破損させる恐れがあります。■ 乾電池は、単三形アルカリ乾電池（6本）を使用すること。
⊘	<ul style="list-style-type: none">■ 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないこと。 漏液、発熱、または破裂などを起こし、本体を破損させる恐れがあります。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
⊘	<ul style="list-style-type: none">■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。■ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
!	<ul style="list-style-type: none">■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
⊘	<ul style="list-style-type: none">■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器の動作を止め、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くこと。■ 機器に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社ME機器相談センターまでご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ お手入れの際は、感電防止のため、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。

7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機は、周囲に強い電磁波などが存在すると、波形に雑音が入ったり、誤動作を起こすことがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 携帯電話等の使用<ul style="list-style-type: none">電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。■ 電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none">□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。□ 他の電源コンセントから電源を取る。■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none">□ 装置を使用する前に、測定者、患者とも十分に放電を行う。□ 部屋を加湿する。■ 落雷などによる影響<ul style="list-style-type: none">近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。□ 無停電電源装置（JIS T0601-1を満足している機種）を使用する。

開梱

⚠ 注意



- 本機は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

- 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「10. アクセサリ」を参照してください。

本体	1 個
標準付属品	
プリンタ用紙	1 巻
通信ケーブル (型名 : AX-KO1502)	1 個
ACアダプタ (型名 : AX-TB178)	1 個
取扱説明書 (本書)	1 冊
保証書	1 枚
添付文書	1 枚
基本操作マニュアル	1 枚

目次

1. はじめに	3
2. 特長	3
3. 略語・記号の解説	4
4. 仕様	4
5. 各部の名称	5
5.1. 上面図	5
5.2. 背面図	6
5.3. 底面図	6
5.4. キー操作部	7
5.5. 表示部	8
6. 使用前の準備	10
6.1. ケーブルの接続（赤外線通信時は必要ありません）	10
6.2. 電源（ACアダプタ・乾電池の使用）	11
6.3. プリンタ用紙の取り付け（交換）	12
6.4. 使用前点検	13
6.4.1. 電源投入前	13
6.4.2. 電源投入後	13
7. 操作方法	14
7.1. 操作全体の流れ	14
7.1.1. モデル選択	16
7.2. モデル 1 の操作・設定内容	17
7.2.1. 通信の準備	18
7.2.2. レポート形式設定	20
7.2.3. データ読込/プリント	23
7.2.4. 時刻/ID 設定	24
7.2.5. 測定間隔設定	26
7.2.6. 自動測定・モードⅢ（項目番号 3）の設定	28
7.2.7. データクリア	31
7.2.8. 標準設定（標準設定/データクリア）	32
7.2.9. 設定内容印字	33
7.3. モデル 2 の操作・設定内容	34
7.3.1. 通信の準備	35
7.3.2. レポート形式設定	36
7.3.3. データ読込/プリント	37
7.3.4. 時刻設定	38
7.3.5. 測定時刻アラーム設定	40
7.3.6. データクリア	42
7.3.7. 設定内容印字	43
8. 印刷	44
8.1. 印刷例	44
8.1.1. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例（FP）	45
8.1.2. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例（AU）	51
8.1.3. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例（設定等）	53
8.1.4. UA PC シリーズの印字例	55
9. 保守	59
9.1. 保守点検と安全管理	59
9.2. 清掃	59

9.3.	修理を依頼される前に	59
9.4.	エラーコード表	60
9.5.	廃棄	60
10.	アクセサリ	60
11.	アフターサービス・保証	61
12.	保証期間	61
13.	免責事項	61
13.1.	製品に関するご質問・ご相談窓口	61

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのプリンタ ターミナル(TM-2483)をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、プリンタ ターミナル(TM-2483)の接続、設定、ならびに、保守、仕様について記述したものです。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

プリンタ ターミナル (TM-2483)は、専用通信ケーブルまたは赤外線通信により、TM-2430 シリーズ (携帯型自動血圧計 TM-2431C)、および、UA PC シリーズ (家庭向け上腕血圧計) で測定された血圧値、リストデータ等を印刷することが可能であり、以下の特長があります。

- 血圧計 (TM-2430 シリーズ) との通信は赤外線通信を採用。
- 血圧計 (TM-2430 シリーズ) の時刻、ID、および、自動測定機能を設定できます。
- 血圧計 (UA PC シリーズ) の時刻を設定できます。
 - TM-2430 シリーズ (携帯型自動血圧計 TM-2431C)
 - ・ 24 時間毎に血圧データ/脈拍データ/圧負荷データの統計処理結果、および、トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧/最低血圧/脈拍毎の平均値/標準偏差です。
 - ・ 圧負荷データ (PRESSURE LOAD) は、最高血圧/最低血圧のそれぞれについて、任意に設定した値を超えている面積を算出します。(単位 mmHg・h)
 - ・ 統計処理を行う区分は 24 時間ブロックを基本にし、その中をインターバル・ブロックおよび任意に設定した起床時間帯/就床時間帯の結果をプリントします。
 - UA PC シリーズ (家庭向け上腕血圧計)
 - ・ 1 ヶ月毎に血圧データ/脈拍データの統計処理結果、および、トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧/最低血圧/脈拍毎の平均値/標準偏差です。
 - ・ 統計処理、および、トレンドグラフの対象データは、時間範囲とは無関係に全データです。
 - ・ 最高血圧/最低血圧の値が、140/90 [mmHg]を越えている個数を算出します。2 ヶ月以上測定データがある場合は、血圧データを全てプリントした後に、血圧データのトレンドグラフ、脈拍データのトレンドグラフの順に全てプリントします。

3. 略語・記号の解説

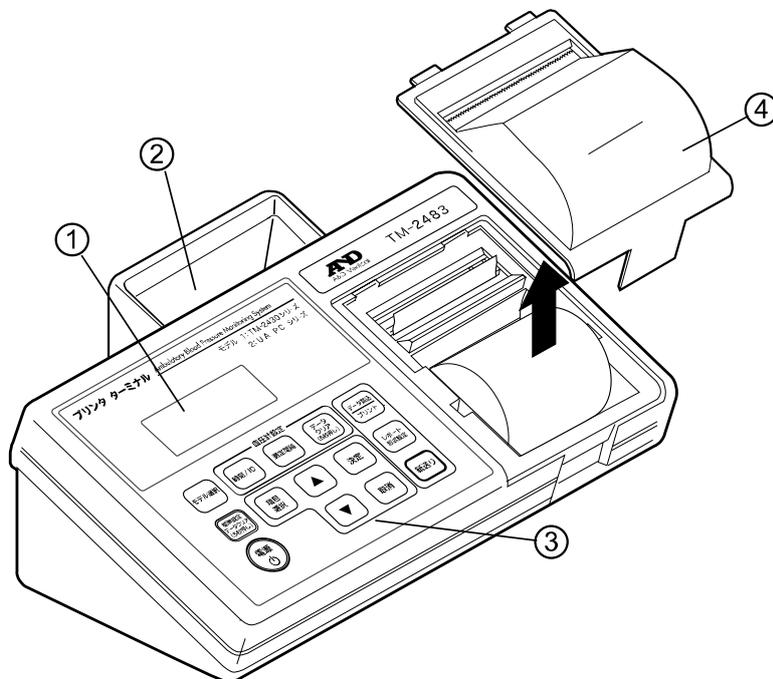
記号(シンボル)	解説
	注意記号：添付文書、取扱説明書を参照。
	ACアダプタジャック極性表示（直流入出力：極性表示（統一形））
	電源のON、OFF（装置の待機状態（スタンバイ）表示）
	取扱説明書参照のこと。

4. 仕様

項目	仕様
印字方式	直接感熱式
プリンタ用紙	直径 50mm × 幅 58 mm
外形寸法	約 220mm(W) × 180mm(D) × 90mm(H) 突起部を除く
表示	LCD
本体質量	約 580g
通信機能	シリアル通信 : EIA RS-232C 規格準拠 赤外線通信 : IrDA SIR1.0 規格準拠
電源	AC アダプタ（専用）、単三形アルカリ乾電池 6本
消費電力	最大 9.6W 以下
使用環境	温度： +10°C～ +40°C、湿度： 30%RH～85%RH（結露なきこと）
保存環境	温度： -20°C～ +55°C、湿度： 95%RH 以下（結露なきこと）
販売名	プリンタ ターミナル
型名	TM-2483

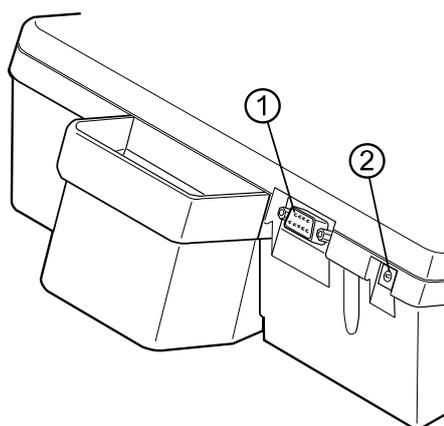
5. 各部の名称

5.1. 上面図



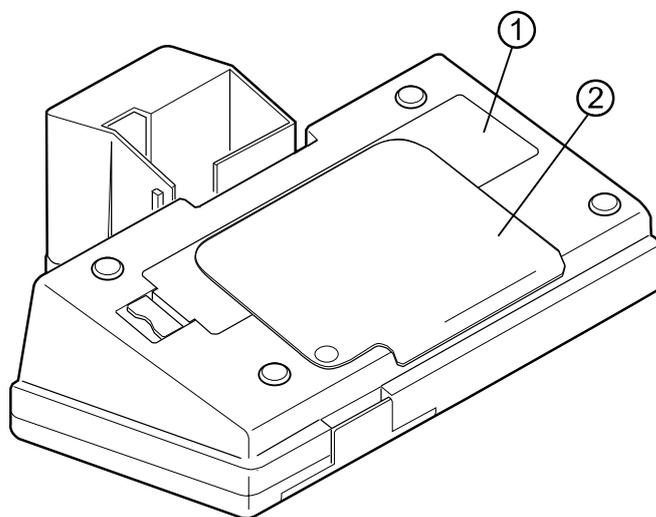
番号	名称	説明
①	表示部	LCDにより、モデル番号や動作状態を表示します。
②	TM-2430 シリーズ挿入用ポケット	TM-2430 シリーズの赤外線通信を行う際に、TM-2430 シリーズを挿入します。
③	キー操作部	操作、設定を行います。
④	プリンタ用紙カバー	プリンタ用紙のカバーです。

5.2. 背面図



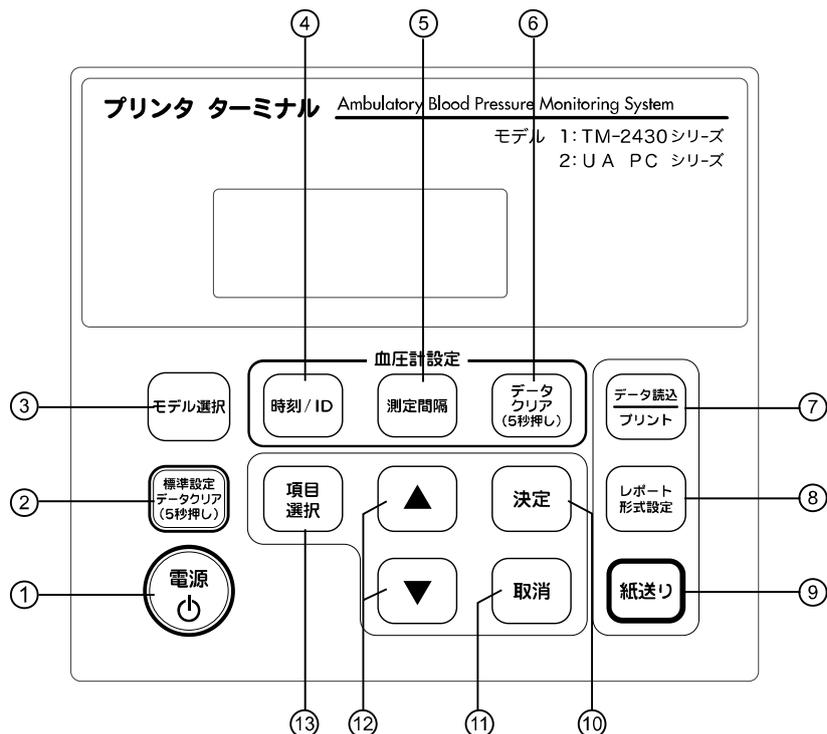
番号	名称	説明
①	通信ケーブルコネクタ	通信ケーブルを接続します。(RS-232C 通信)
②	ACアダプタ入力ジャック	TM-2483 のACアダプタを接続します。

5.3. 底面図



番号	名称	説明
①	電池ホルダ	電源として乾電池を使用する場合の乾電池ホルダです。
②	簡易マニュアル	操作方法の簡単な説明が記述してあります。

5.4. キー操作部

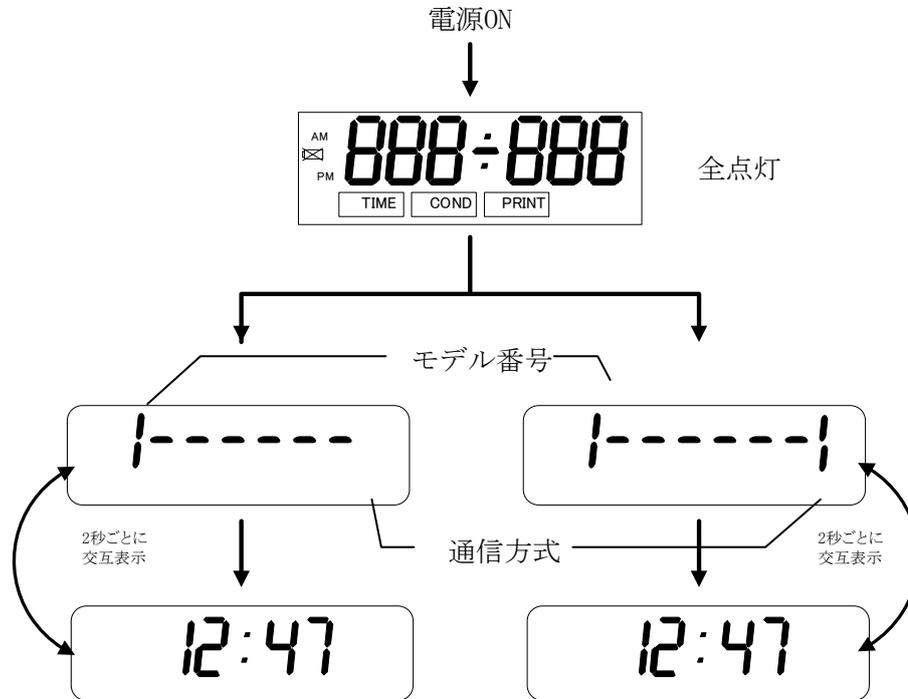


番号	キー	説明
①		電源の ON/OFF を行います。
②		血圧計の各設定を標準的なパターンに設定し、測定データをクリア (削除) します。 (モデル: TM-2430 シリーズのみ接続します。)
③		接続する血圧計モデルを選択します。
④		時刻 / ID の設定をする状態にします。
⑤		測定間隔の設定をする状態にします。
⑥		血圧計の測定データを消去します。
⑦		血圧計より測定データを読み込み、記憶しているレポート形式にてプリントします。
⑧		レポート形式の設定をする状態にします。
⑨		紙送りを行います。
⑩		設定状態のとき、変更した設定値の決定を行います。
⑪		通信、プリント、設定の中止を行います。
⑫		設定状態のとき、設定値の変更を行います。
⑬		設定状態のとき、項目の変更を行います。

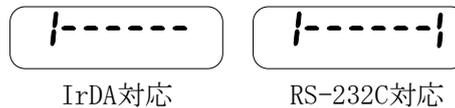
5.5. 表示部

●スタンバイ状態

電源キーをONすると、下図のようにLCDが全点灯した後、スタンバイ状態の表示になります。スタンバイ状態時、LCD表示部は、接続モデル番号と通信方式、および、設定されている時刻を2秒ごとに交互に表示します。
(接続モデル：TM-2430 シリーズの例)

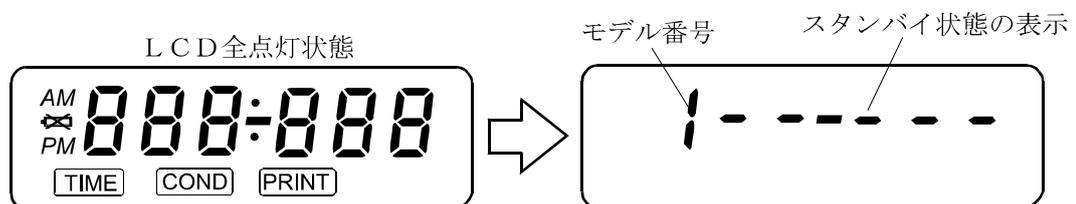


※通信方式の表示



●接続モデルの表示

モデル番号とモデル名（機種名）の対応は下表の通りです。



モデル番号とモデル名（型名）の対応

モデル番号	モデル名（型名）
1	TM-2430 シリーズ
2	UA PC シリーズ

●表示マークの説明



表示マーク	説明
点灯	時刻／IDの設定時に点灯します。(モデル番号1、2対応)
点灯	測定間隔の設定時に点灯します。(モデル番号1、2対応)
点灯	レポート形式の設定時に点灯します。(モデル番号1のみ対応)
点滅	プリントしているときに点滅します。(モデル番号1、2対応)

●電池不足の表示

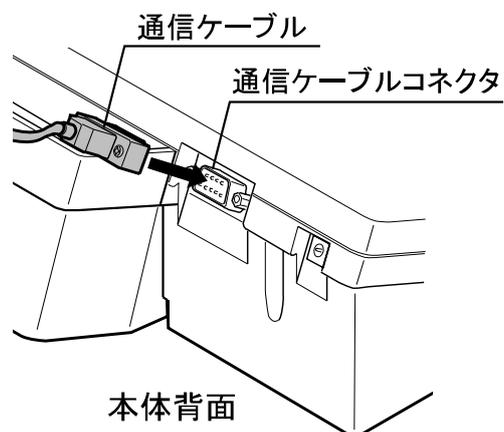
電池動作時に、電圧が減少すると“ **Lb**”表示になります。新しい電池に交換するか、ACアダプタを接続してください。



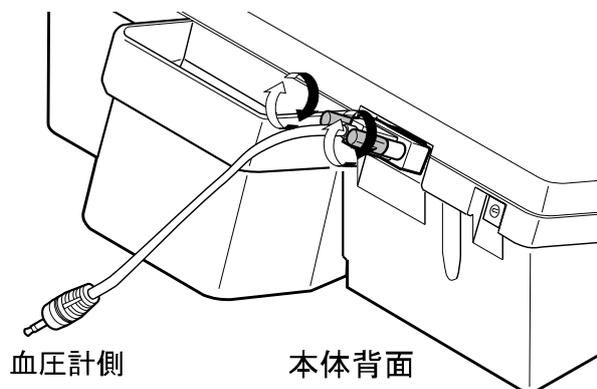
6. 使用前の準備

6.1. ケーブルの接続（赤外線通信時は必要ありません）

- ① プリンタ本体背面の通信ケーブルコネクタに付属の通信ケーブル（AX-KO1502）を差し込みます。



- ② 通信ケーブルの左右のネジを時計回りに回し、固定します。
(ケーブルの形状、固定形式は実際のものとは異なる場合があります。)

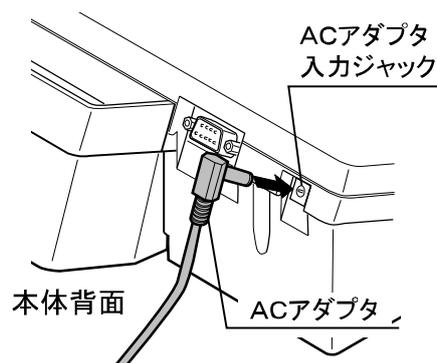


6.2. 電源（ACアダプタ・乾電池の使用）

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 電池はホルダの表示に従って+、-を正しくセットしてください。■ 使い切った電池はすぐに取り外し、6本同時に新しい電池と交換してください。■ 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。 液漏れなどを起こし、本体を破損させる恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 漏液、発熱、または破裂などを起こし、本体を破損させる恐れがあります。

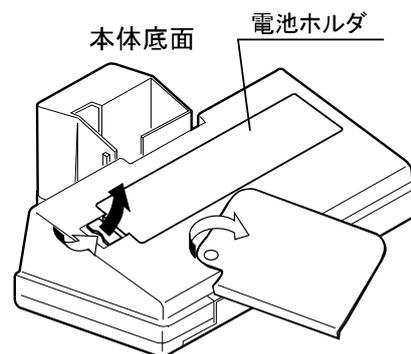
●ACアダプタを使用する場合

- ① プリンタ背面のACアダプタ入力ジャックに付属のACアダプタを差し込み、もう一方のプラグをコンセントに差し込んでください。

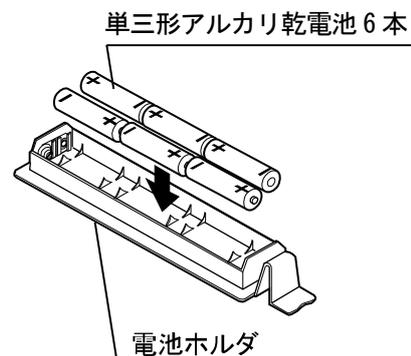


●乾電池を使用する場合

- ① プリンタ本体を裏返し、電池ホルダを本体から外します。



- ② 電池ホルダに単三形アルカリ乾電池を6本セットし、本体に戻します。

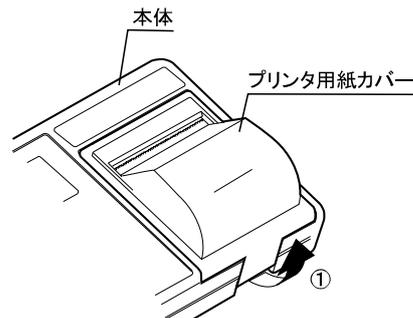


お知らせ

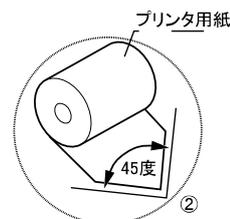
- ACアダプタが差し込まれている場合は、ACアダプタを優先します。
- 電池動作をしている場合、何も操作しない状態で5分間放置していると、電池が自動的にOFFになります。

6.3. プリンタ用紙の取り付け（交換）

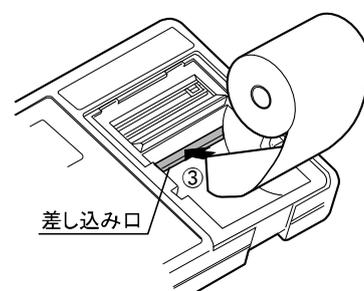
① プリンタ用紙カバーを外します。



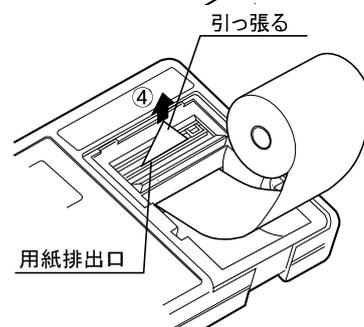
② プリンタ用紙の先端を右図のように切ります。



③ プリンタ用紙の先端をプリンタ用紙差し込み口に挿入します。



④ プリンタ用紙の先端がプリンタ用紙排出口から出てきたら、ゆっくり引き出します。



⑤ プリンタ用紙の先端部分が排出口から全て出たら紙送りキーを押し、正常に紙送りすることを確認します。もし、正常に紙送りしない場合はもう一度やり直してください。

⑥ 正常に紙送りすることが確認できたら、プリンタ用紙カバーのカッター部にプリンタ用紙を差し込み固定します。

お知らせ

- プリンタ用紙の装着方向及び表裏を間違えると、印字しません。
- プリンタ用紙は弊社の純正品をご使用ください。純正品以外を使用した場合、印字が薄くなったり、紙詰まり等の故障の原因となります。
- プリンタ用紙は残り約60cmになると、ピンク色のエンドマーク（両側にピンク色の線）が出てきますので、プリンタ用紙を新しいものと交換してください。
- プリンタ用紙は感熱紙を使用しています。変色したり、印字が退色したりしますのでご注意ください。
 - 変色させるものの例
糊、有機溶剤を含むサインペン、接着剤。
 - 退色させるものの例
蛍光ペン、テープ、保存するときの透明ケース、下敷き、日光、紫外線
測定結果を保存する場合はコピーを取って保存してください。

6.4. 使用前点検



注意



- 本機を使用する前に、本機の性能および安全性、有効性を維持するため、始業前点検は必ず行ってください。

電源投入前、投入後に下記点検を行い、問題ないことを確認してご使用ください。

問題があれば使用を中止し、機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社修理窓口へお問い合わせください。

6.4.1. 電源投入前

番号	項目	内容
1	外観	落下等による変形、破損がないこと
		スイッチ等に破損やガタつきがないこと
2	通信ケーブルコネクタ	接続端子のガタ、破損がないこと
3	電源(アダプタ、電池)	本体のコネクタ部にプラグが確実に挿入されていること
		ACアダプタ、プラグが破損していないこと
		電池使用の場合、電池が消耗していないこと
4	印刷	プリンタ用紙が装着されていること

6.4.2. 電源投入後

番号	項目	内容
1	電源投入	発火、発煙、異臭がないこと
		異常音がないこと
2	表示部	表示上で異常がないこと
3	操作部	操作スイッチ類の動作に異常はないこと
3	印刷部	正常に印字され異常音等発生しないこと

上記の「始業前点検」は、血圧計の「始業前点検」項目と併せてご確認ください。

7. 操作方法

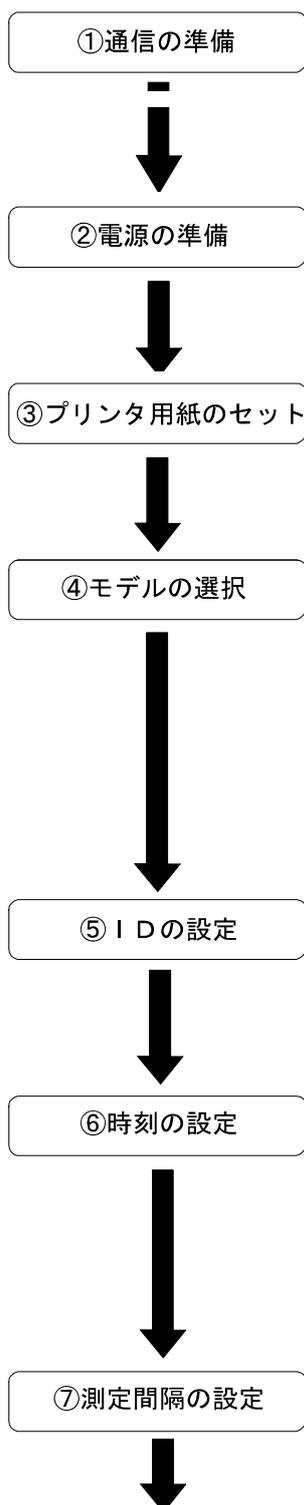
7.1. 操作全体の流れ

モデル1 (TM-2430 シリーズ) について操作全体の流れを説明します。本機をご使用の際は、この操作全体の流れをよく理解してから行ってください。

他のモデルについても同様の流れですが、詳しくはそれぞれの章の下記項目をご覧ください。

◇モデル1の場合「7.2 モデル1の操作・設定内容」

◇モデル2の場合「7.3 モデル2の操作・設定内容」



- ① ケーブルの接続または、血圧計本体を背面のポケットに入れて、通信の準備をしてください。

※ 詳しくは下記項目をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.1 通信の準備」

◇モデル2の場合：「7.3.1 通信の準備」

- ② ACアダプタを接続してください。(または、電池をセットしてください。) **電源**キーを押して、電源をONしてください。

※ 詳しくは「6.2 電源」をご覧ください。

- ③ プリンタ用紙をセットしてください。

※ 詳しくは「6.3 プリンタ用紙の取り付け」をご覧ください。

- ④ **モデル選択** キーを押し、接続するモデルを選択してください。

モデル番号	モデル名
1	TM-2430 シリーズ
2	UA PC シリーズ

※ 詳しくは「7.1.1 モデル選択」をご覧ください。

- ⑤ **時刻/ID** キーを押し、IDを設定してください。

※ 詳しくは下記項目をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.4 時刻/ID設定」

◇モデル2の場合：ID設定なし

- ⑥ **時刻/ID** キーを押し、時刻を設定してください。時刻とIDは、同時に設定出来ますので、同時に変更することをお勧めします。

※ 詳しくは下記項目をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.4 時刻/ID設定」

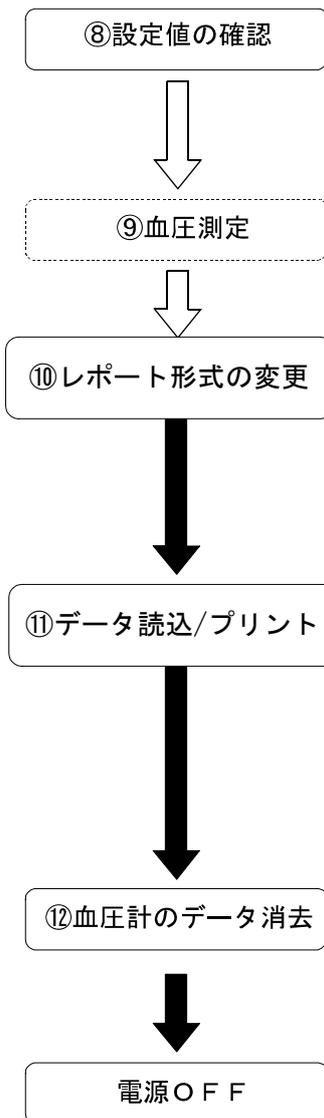
◇モデル2の場合：「7.3.4 時刻設定」

- ⑦ **測定間隔** キーを押し、血圧計の自動測定の間隔を設定してください。

※ 詳しくは下記項目をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.5 測定間隔設定」

◇モデル2の場合：「7.3.5 測定時刻アラーム設定」



⑧ **決定** キーを押してください。血圧計および本機の設定内容のプリントを開始します。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.9 設定内容印字」

◇モデル2の場合：「7.3.7 設定内容印字」

⑨ 血圧計の使用者が、血圧測定を行います。

※詳しくは各血圧計の取扱説明書をご覧ください。

⑩ レポート形式を変更したい時に **レポート形式設定** キーを押し、設定を行います。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.2 レポート形式設定」

◇モデル2の場合：「7.3.2 レポート形式設定」

⑪ **データ読込/プリント** キーを押してください。データ読込した後、自動的にプリントを開始します。

◇モデル1の場合：「7.2.3 データ読込/プリント」

◇モデル2の場合：「7.3.3 データ読込/プリント」

※ レポート形式は、前回設定した形式でプリントします。

⑫ 次回の血圧測定のために、記憶しているデータを消去します。

データクリア キーを5秒間押し、データを消去します。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル1の場合：「7.2.7 データクリア」

◇モデル2の場合：「7.3.6 データクリア」

お知らせ

- 操作および設定の必要がない場合は、スキップしてください。
- 設定の変更がない場合、**⑪データ読込/プリント**と**⑫血圧計のデータ消去**を行うだけで、データ処理をすることができます。
- 血圧計と接続していない状態で**⑥時刻の設定**を行うと本体(TM-2483)の時刻設定をします。その場合、本体(TM-2483)内の時計を設定し設定内容を印字後、スタンバイ状態に戻ります。

7.1.1. モデル選択

操作全体の流れを十分理解し、本プリンタの準備が出来ましたら（「6. 使用前の準備」が終了した状態）、まず初めに接続する血圧計のモデルを選択します。

- ① **電源**キーを押し、電源をONにするとスタンバイ状態となります。（時計とモデル番号表示を2秒ごとに交互に表示します）
- ② **モデル選択**キーを押し、接続したい血圧計のモデルを選択します。モデル番号と接続する血圧計のモデル名の対応は下表の通りです。

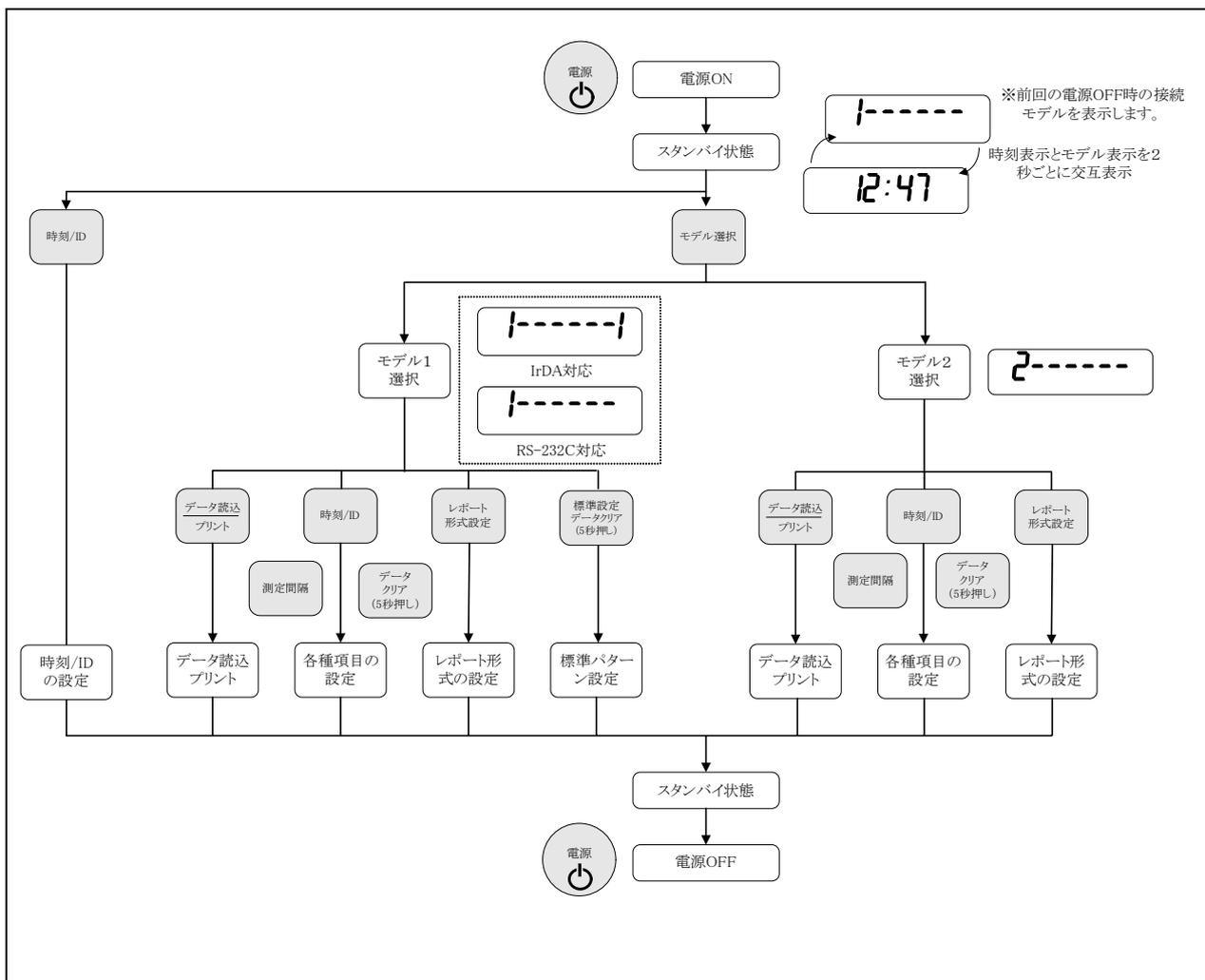
モデル番号 1-----

モデル番号	モデル番号	参照する章
1	TM-2430 シリーズ	「7.2 モデル1 の操作・設定内容」
2	UA PC シリーズ	「7.3 モデル2 の操作・設定内容」

●以降の操作について

接続する血圧計のモデル番号を選択後、以下の操作を行います。詳しい内容については血圧計の機種ごとに異なりますので上表の“参照する章”を参考に行ってください。

- ③血圧計と配線（赤外線通信を除く）をし、血圧計の通信準備をします。
 - ④測定データ読込、各種の設定、レポート形式設定、標準設定等を行います。
 - ⑤各動作が終了するとスタンバイ状態に戻ります。そのまま、④を繰り返すことが可能です。
 - ⑥作業終了後、**電源**キーを押すと電源をOFFにして終了となります。
- また、操作全体の概要を下図のフローチャートに示します。

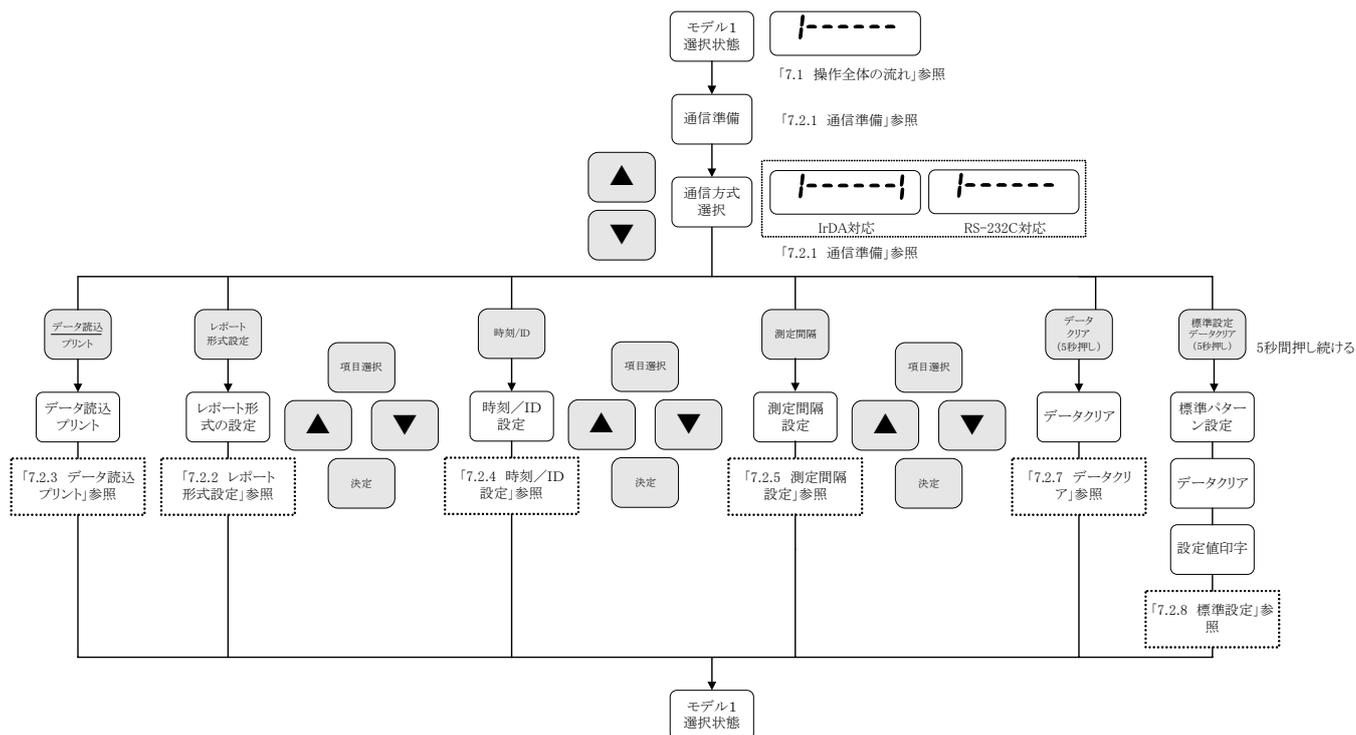


7.2. モデル 1 の操作・設定内容

「7.1 操作全体の流れ (7.1.1 モデル選択)」でモデル1を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名 : TM-2430 シリーズ

“モデル1”を選択した場合、各設定の内容について下表に示します。モデル1では、本機TM-2483のすべての機能を使用できます。詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。また、モデル1では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。それぞれの内容については、「7.2.1 通信の準備」を参照してください。



機能名称	内容	参照する章
レポート形式 設定	測定データのレポートの形式を設定します。	「7.2.2 レポート形式設定」
データ読込 プリント	測定データの読込、および測定データのプリント	「7.2.3 データ読込プリント」
時刻/ID 設定	時刻の設定 ID番号の設定 血圧計の測定結果の表示 ON/OFFの設定	「7.2.4 時刻/ID設定」
測定間隔 設定	血圧計の自動測定する間隔を設定します。	「7.2.5 測定間隔設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「7.2.7 データクリア」
標準設定	時刻およびID、測定間隔を標準的な値に設定します。 データクリアを行い、設定値を印字します。	「7.2.8 標準設定」

7.2.1. 通信の準備

モデル1では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。それぞれの内容について以下に示します。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示に戻ります。

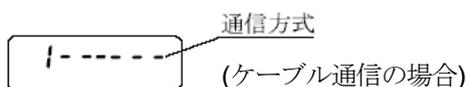
●通信ケーブルによる通信 (RS-232C 通信)

- ① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。

(「6. 使用前の準備」参照)

- ②   キーを押し、通信方式を選択します。

通信ケーブルによる通信を選択するには、LCD表示の一番右側を「-」表示にします。



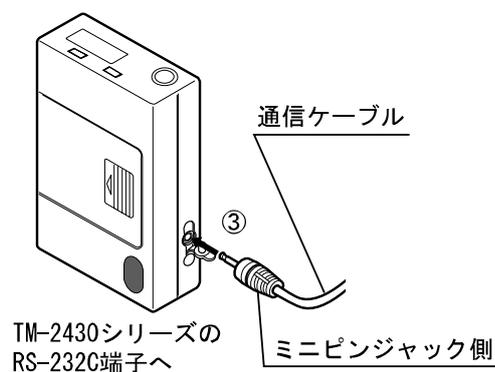
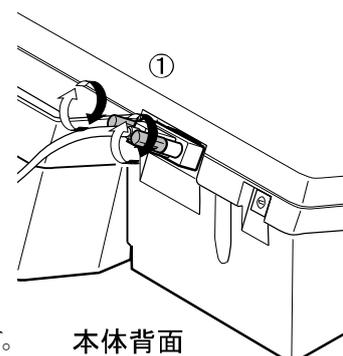
※選択後、自動的に通信方式が確定し、数秒でスタンバイ状態に戻ります。

- ③ 付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計(TM-2430 シリーズ)

に接続します。血圧計(TM-2430 シリーズ)の表示が以下のようになります。



- ④ 血圧計の表示が変わったら、ケーブルによる通信準備の完了です。



 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 血圧計のバッテリー残量が少ないと血圧計は通信モードになりません。血圧計の表示が次の場合には、血圧計のバッテリーを交換してください。 <div style="text-align: center;"></div>

●赤外線による通信 (IrDA 通信)

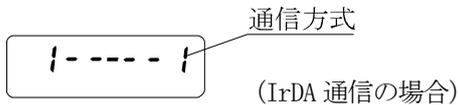
 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 血圧計を赤外線通信状態 ( 表示) のまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。通信が終了しましたら、自動 入/切スイッチを押し、赤外線通信状態を解除してください。■ 赤外線通信状態を解除すると、血圧計は時計表示に戻ります。

お知らせ	
<ul style="list-style-type: none">■ 赤外線通信は、赤外線通信機能付きの血圧計 (TM-2430 シリーズ) との通信が可能となります。通信機能が付いていない機種は対応できませんのでご注意ください。	

◇本機の赤外線通信モードへの移行設定

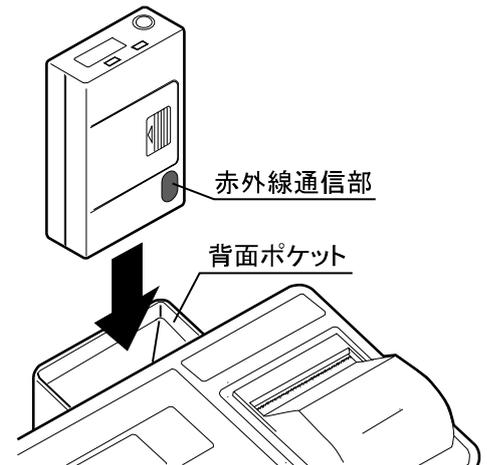
- ①   キーを押し、通信方式を選択します。

赤外線による通信を選択するには、LCD表示の一番右側を「I」表示にします。



- ② 血圧計(TM-2430 シリーズ)を本機背面のポケットに入れます。血圧計の挿入方向を間違えないように挿入してください。(右図参照)

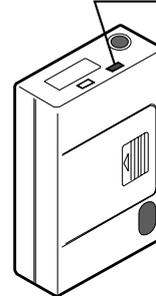
- ② TM-2430シリーズ



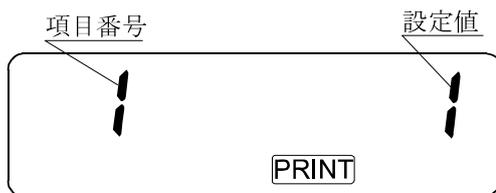
◇血圧計の赤外線通信モードへの移行設定

- ③ 血圧計の **自動 入/切** スイッチを押します。
- ④ 1秒以上押し続けて、血圧計の表示を  とします。
- ⑤ 血圧計の表示が変わったら、赤外線による通信準備の完了です。

- ③ **自動 入/切** スイッチ



7.2.2. レポート形式設定



●内容説明

- ・レポート形式設定は、本機の各条件を設定します。血圧計の測定データおよび時刻等は、変更されません。
- ・**レポート形式設定**キーを押すと、上記の表示となります。
- ・レポート形式の設定中は、**PRINT** マークが点灯します。
- ・レポート形式の設定終了時には、設定内容確認プリントを行います。
- ・レポート形式は、電源をOFFしても記憶しています。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0 ~ 7	印字形式 0 … テーブル+血圧グラフ 1 … テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ+圧負荷グラフ 2 … テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ 3 … テーブル+圧負荷グラフ 4 … テーブル 5 … 血圧グラフ 6 … 脈拍グラフ 7 … 圧負荷グラフ
2	AU、FP、 0 ~ 23	処理開始時刻 AU : 最初の測定から1時間までの処理、及び信頼性のないデータ (次ページお知らせ参照) は24時間統計処理から除外(印字 は全てのデータを印字し、除外するデータに“AE”マークを 印字) FP : 最初のデータから全てのデータを処理 0 ~ 23 : 設定した時刻から全てのデータを処理
3	0 ~ 23	就床時間
4	0 ~ 23	起床時間
5	100 ~ 180 (出荷時 135)	起床時の最高血圧閾値 (5mmHg ステップでの設定)
6	50~130 (出荷時 85)	起床時の最低血圧閾値 (5mmHg ステップでの設定)
7	100~180 (出荷時 120)	就床時の最高血圧閾値 (5mmHg ステップでの設定)
8	50~130 (出荷時 75)	就床時の最低血圧閾値 (5mmHg ステップでの設定)
9	—	初期設定 印字形式 0 処理開始時刻 AU 就床時間 2 2時 起床時間 6時 起床時 最高血圧閾値 1 3 5 [mmHg] 起床時 最低血圧閾値 8 5 [mmHg] 就床時 最高血圧閾値 1 2 0 [mmHg] 就床時 最低血圧閾値 7 5 [mmHg]

※項目番号9にして**決定**キーを押すと、全てのレポート形式設定値を初期設定にして、設定を終了します。

お知らせ

■ 項目番号 2 の設定値 AU における除外データ

①最初の測定から 1 時間は、データは別途 (24 時間統計処理データの前に区別して) 印字し、24 時間統計処理に使用しません。

・最初の 1 時間の判定

最初の測定が、9:00 の場合、9:00～9:59 の処理データを除外します。

最初の測定が、9:01 の場合、9:01～10:59 の処理データを除外します。

②信頼性のないデータには除外マーク “AE” を印字し、24 時間統計処理に使用しません。

・次の条件の場合、リストに除外マーク “AE” が付きます。

SBP < 70mmHg

SBP > 250mmHg

DBP < 30mmHg

DBP > 130mmHg

脈圧 < 20mmHg

脈圧 > 160mmHg

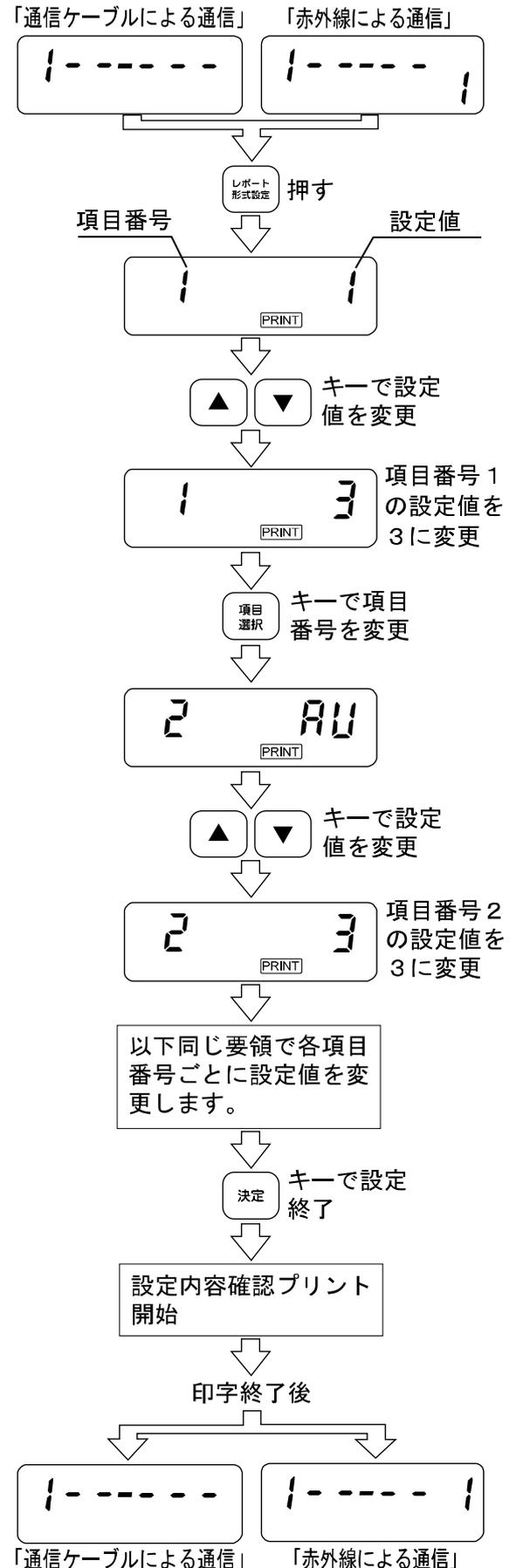
脈圧 $\leq 0.41 * \text{DBP}$ (60～150mmHg の範囲) - 17 mmHg

・時刻設定を過去に戻した場合、戻された期間のデータは除外マーク “AE” が付きます。

※SBP、DBP はそれぞれ最高血圧、最低血圧を表します。

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で **レポート形式設定** キーを押します。
- ② **PRINT** マークが点灯し、項目番号「1」と現在設定されている設定値を表示します。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して変更してください。
※設定例では、項目番号1（印字形式）の設定値を3（テーブル+圧負荷グラフ）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押して変更してください。また、設定値を変更する場合は **▲** **▼** キーで変更してください。
※設定例では、項目番号2（処理開始時刻）の設定値を3（3時）に変更しています。
- ⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号を選択し、設定値を変更してください。
- ⑥ 変更が終了したら **決定** キーを押し、設定を終了してください。
※設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、レポート形式設定を中止します。この場合、レポート形式は変更されません。
- 項目番号9にて **決定** キーを押すと、全てのレポート形式設定が初期設定に戻されて設定を終了しますので、ご注意ください。

7.2.3. データ読込/プリント

●内容説明

- ・ **データ読込/プリント** キーを押すと、血圧計より測定データを読込みます。続いて、設定されているレポート形式にしたがい測定結果をプリントします。
- ・ 印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです

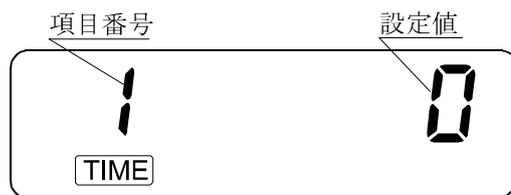
印字形式	内 容
0	テーブル+血圧グラフをプリントします。
1	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ+圧負荷グラフをプリントします。 (「8. 印刷」(TM-2430シリーズの印字例)を参照)
2	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフをプリントします。
3	テーブル+圧負荷グラフをプリントします。
4	テーブルのみをプリントします。
5	血圧グラフのみをプリントします。
6	脈拍グラフのみをプリントします。
7	圧負荷グラフのみをプリントします。

※印字形式を含めたレポート形式の設定方法については「7.2.2 レポート形式設定」を参照してください。

●手順

- ① 通信の準備が出来ているか確認してください。
(「7.2.1 通信の準備」参照)
- ② **データ読込/プリント** キーを押します。
血圧計より測定データを読込みます。
- ③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は **PRINT** マーク が点滅します。
- ④ プリントが終了すると、**PRINT** マークが消灯します。

7.2.4. 時刻／ID設定



●内容説明

- ・時刻／ID 設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に各条件を設定します。
- ・**時刻／ID** キーを押すと、上記の表示となります。
- ・時刻／ID の設定中は、**TIME** マークが点灯します。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0, 1	表示機能の ON/OFF 0 …… OFF (血圧計の結果を表示しない) 1 …… ON (血圧計の結果を表示する)
2	1 ~ 99	ID 番号
3	1997 ~ 2096	年 (西暦 4 桁)
4	1 ~ 12	月
5	1 ~ 31	日 (年・月を参照し、設定範囲を自動調整)
6	0 ~ 23	時 (24 時間表記)
7	00 ~ 59	分 (常に 2 桁表示)

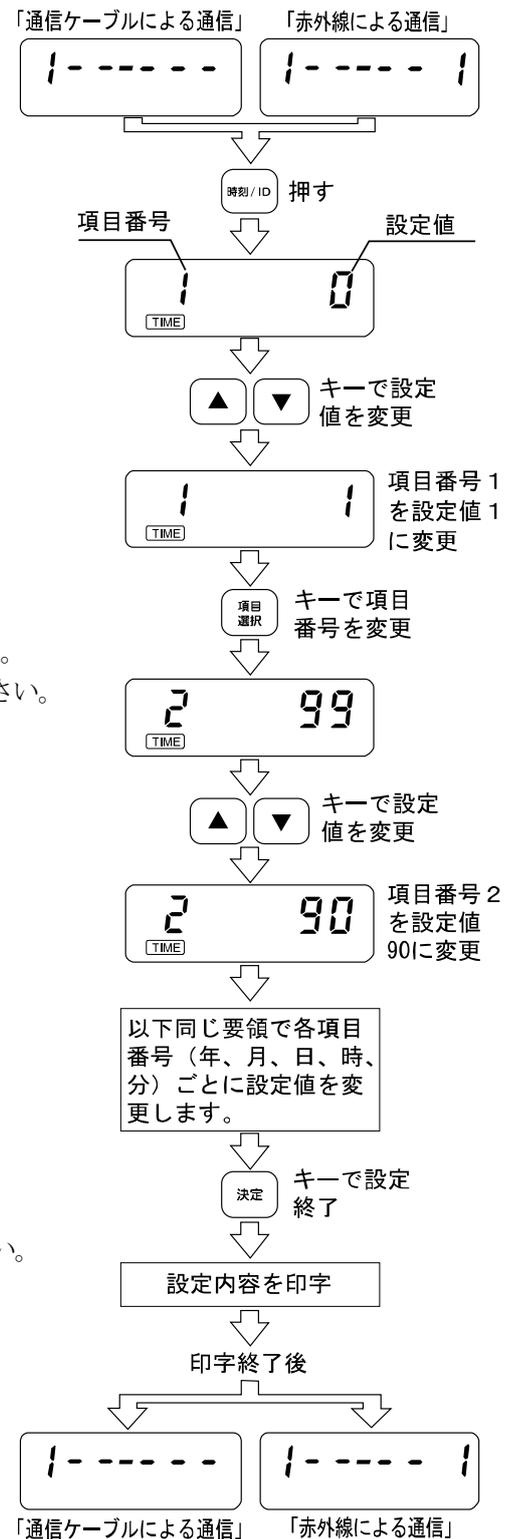
※表示機能の ON/OFF については、血圧計の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

お知らせ

- 血圧計との接続が完了していない状態で**時刻／ID**キーを押した場合、項目番号 1、2 をスキップし、本機内の日付時刻の設定モードになります。
設定変更後、**決定**キーを押すと本機内の日付時刻設定を更新します。

●設定手順

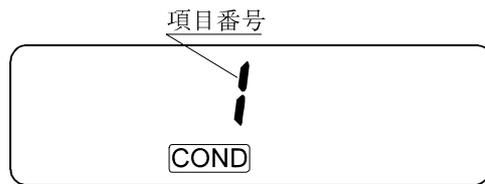
- ① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で **時刻/ID** キーを押します。
- ② **TIME** マークが点灯し、項目番号「1」と、接続されている血圧計に現在設定されている設定値を表示します。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号1（表示機能ON/OFF）の設定値を1（ON）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押し変更してください。また、設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーで変更してください。
※設定例では、項目番号2（ID番号）の設定値を90に変更しています。
- ⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号を選択し、年、月、日、時、分の設定値を変更してください。
- ⑥ 変更が終了したら **決定** キーを押し、設定を終了してください。
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、「時刻/ID」設定を中止します。この場合、「時刻/ID」の内容は変更されません。

7.2.5. 測定間隔設定



●内容説明

- ・測定間隔設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に自動測定する測定間隔を設定します。
- ・**測定間隔** キーを押すと、上記の表示となります。
- ・測定間隔の設定中は、**COND** マークが点灯します。
- ・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号 (モード)	設定内容
1	自動測定・モードⅠ 06:00 ～ 21:59 15 分間隔 22:00 ～ 05:59 30 分間隔
2	自動測定・モードⅡ 「S」マーク消灯時 15 分間隔 「S」マーク点灯時 30 分間隔
3	自動測定・モードⅢ 最大6ブロックを任意設定 決定 キーで設定が継続。

※ 測定間隔の詳細については、血圧計（TM-2430 シリーズ）の取扱説明書をよくお読みください。

※ 初期設定値はモードⅠです。

●設定手順

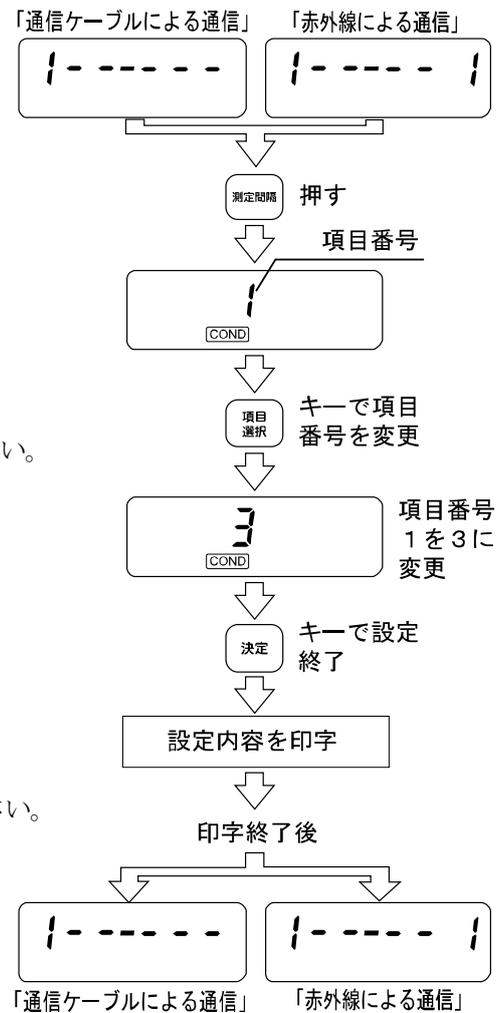
- ① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で **測定間隔** キーを押します。

- ② **COND** マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている項目番号を表示します。

- ③ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押して変更してください。
 ※設定例では、項目番号1（自動測定モードⅠ）を3（自動測定モードⅢ）に変更しています。
 ※自動測定モードⅠは初期設定値です。

- ④ 変更が終了したら **決定** キーを押して、設定を終了してください。
 （項目番号「3」を選択した場合は、設定が継続します。後述する「自動測定・モードⅢの設定」を参照してください。）

※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、「測定間隔」設定を中止します。この場合、「測定間隔」の内容は変更されません。

7.2.6. 自動測定・モードⅢ（項目番号3）の設定



●内容説明

- ・測定間隔に「自動測定・モードⅢ」を選択すると、24時間を最大6ブロックに分割し測定間隔を設定することができます。
- ・引き続き、**COND** マークが点灯し上記の表示となります。
- ・項目番号の説明を下表に示します。

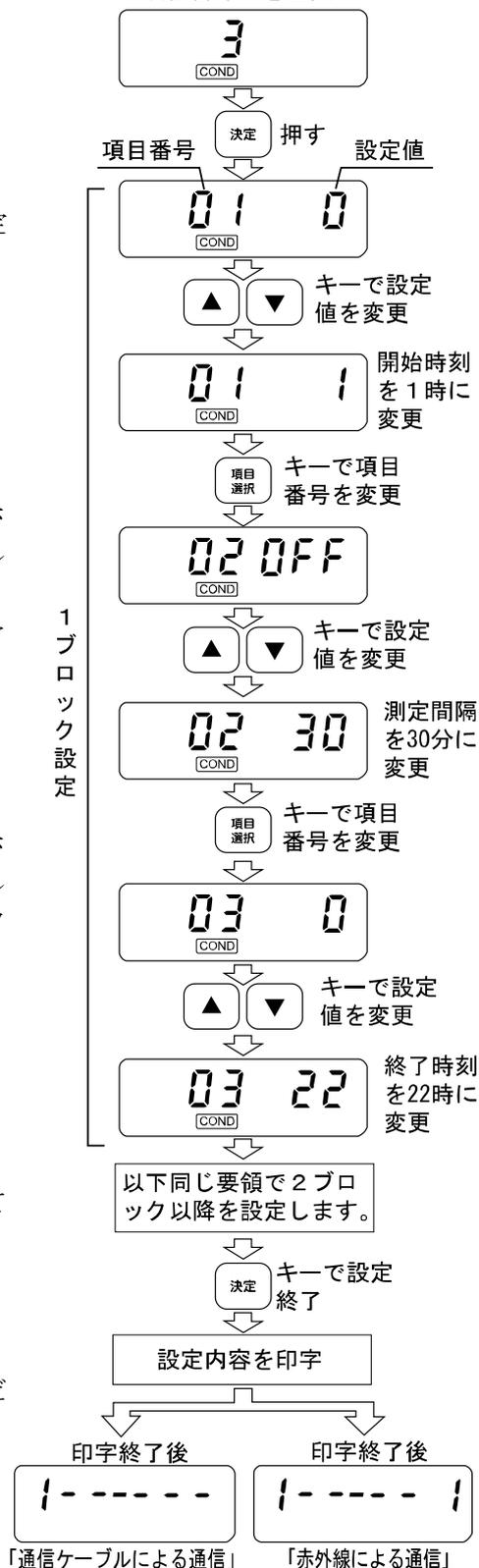
項目番号	設定値の範囲	設定内容
01	0～23	1ブロック開始時刻
02	(注1)	測定間隔
03	0～23	1ブロック終了時刻（2ブロック開始時刻）
04	(注1)	測定間隔
05	0～23	2ブロック終了時刻（3ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
06	(注1)	測定間隔
07	0～23	3ブロック終了時刻（4ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
08	(注1)	測定間隔
09	0～23	4ブロック終了時刻（5ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
10	(注1)	測定間隔
11	0～23	5ブロック終了時刻（6ブロック開始時刻） ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
12	(注1)	測定間隔
13	1ブロック 開始時刻	6ブロック終了時刻 ただし、1ブロック開始時刻を強制入力します。

注1： 設定値の範囲は、「OFF, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120」とします。

●設定手順

- ① 「7.2.5 測定間隔設定」で項目番号3を選択して **決定** キーを押し、「自動測定・モードⅢ」の設定を行います。1ブロックの開始時刻と測定間隔と終了時刻の設定方法を例に説明します。2ブロック以降も同様に設定してください。
- ② 項目番号01（1ブロックの開始時刻）を表示します。開始時刻の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して変更してください。
※設定例では、項目番号01（1ブロックの開始時刻）の設定値を1（開始時刻1時）に変更しています。
- ③ **項目選択** キーを押して項目番号02（1ブロックの測定間隔）の表示にします。測定間隔の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して変更してください。
※設定例では、項目番号02（1ブロックの測定間隔）の設定値を30（30分）に変更しています。
- ④ **項目選択** キーを押して項目番号03（1ブロックの終了時刻）の表示にします。終了時刻の設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押して変更してください。なお、1ブロックの終了時刻が自動的に2ブロックの開始時刻となります。
※設定例では、項目番号03（1ブロックの終了時刻）の設定値を22（22時）に変更しています。
- ⑤ 2ブロック以降の設定が必要な場合は、同じ要領で項目番号を選択して設定値を設定しますが、設定に際しては後述の「●設定にあたっての注意事項」をよくご確認の上、行ってください。
- ⑥ 変更が終了したら **決定** キーを押し、設定を終了してください。
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。

「7.2.5 測定間隔設定」
で項目番号3を選択



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、「測定間隔」設定を中止します。この場合、「測定間隔」の内容は変更されません。

●設定にあたっての注意事項

○設定時に前ブロックまでに選択した時間帯は、次ブロックでは設定できません。

[例]

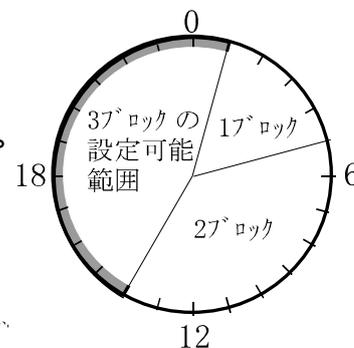
1ブロック 1時～5時

2ブロック 5時～14時

この場合、3ブロックの終了時刻（項目番号「07」）で選択できる設定値は、

14時～23時、0時～1時までの範囲となります。

項目番号	設定値	設定内容
01	1	1ブロック開始時刻
02	—	測定間隔
03	5	1ブロック終了時刻（2ブロック開始時刻）
04	—	測定間隔
05	14	2ブロック終了時刻（3ブロック開始時刻）
06	—	測定間隔
07	14～23 0～1	3ブロック終了時刻（4ブロック開始時刻） 前ブロックまでの範囲は設定出来ません。



○6ブロックに満たない場合でも、全ブロックで24時間になりますと次ブロックを設定することは出来ません。

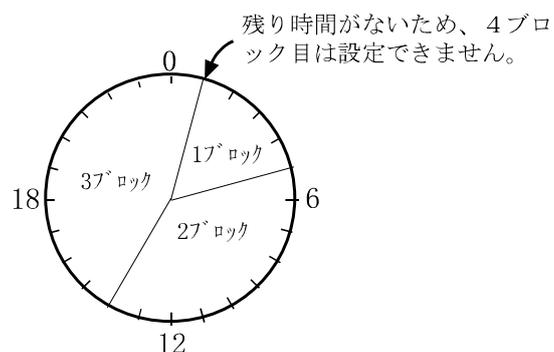
[例]

1ブロック 1時～5時

2ブロック 5時～14時

3ブロック 14時～1時

この場合、**項目選択** キーを押しても4ブロックの測定間隔の設定（項目番号「08」）は表示せず、項目番号「01」を表示します。



○測定間隔に「120分」を選択した場合、そのブロックの終了時刻は、ブロックの時間帯が2時間おきになるように表示します。

[例]

1ブロック開始時刻 1時

1ブロック測定間隔 120分

この場合、1ブロックの終了時刻（項目番号「03」）は、設定値の表示が“1・3・5・7・9・11・13・15・17・19・21・23”となります。

○1時間しかない最終ブロックは、測定間隔に「120分」を表示しません。

※最終ブロックとは、前のブロックまでに23時間分を設定している場合の次のブロックです。

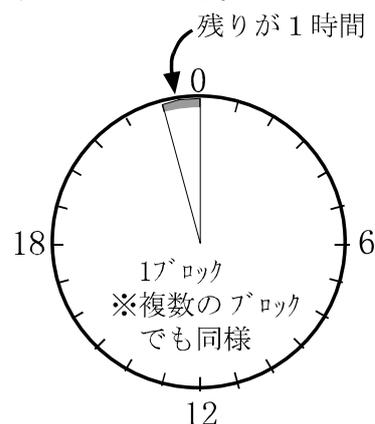
[例]

1ブロック開始時刻 0時

1ブロック測定間隔 60分

1ブロック終了時刻 23時

この場合、2ブロックの測定間隔（項目番号「04」）では、“120”の設定値は表示しません。



7.2.7. データクリア

⚠ 注意



- 「データクリア」すると、血圧計の測定データは消去され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの処理を完了してから「データクリア」を行ってください。
- 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

●内容説明

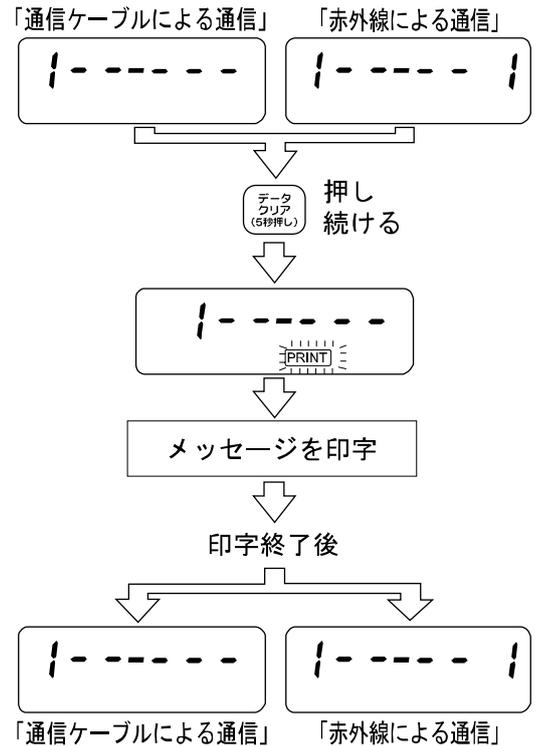
- ・データクリアは、血圧計（TM-2430シリーズ）の測定データを消去します。

●手順

- 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で **データクリア（5秒押し）** キーを押し続けます。1秒毎にブザーが「ピッ」となり、5秒後に長くブザーが鳴ります。
 - ・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARD」とのメッセージをプリントします。
 - ・「MEMORY CLEAR FAILED」のメッセージをプリントしたときは **データクリア（5秒押し）** キーを正しく押ししてください。

お知らせ

- **データクリア（5秒押し）** キーを5秒間押し続けなかった場合、測定データは消去されません。この場合も「MEMORY CLEAR FAILED」とプリントします。



7.2.8. 標準設定（標準設定/データクリア）

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「標準設定(データクリア)」キーを押すと、血圧計（TM-2430 シリーズ）に下記項目を設定し、同時に血圧計の測定データをデータクリアします。測定データは復帰できませんのでご注意ください。 必ず測定データの処理を完了してから「標準設定(データクリア)」を行ってください。 ■ 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

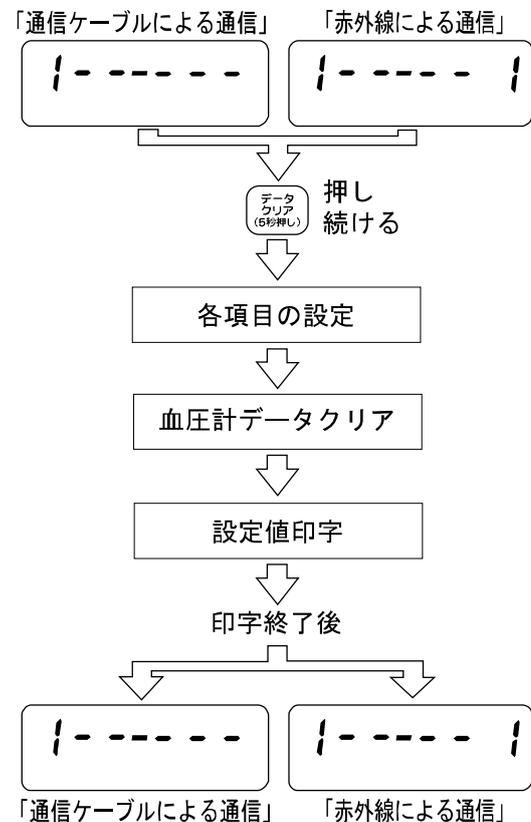
●内容説明

- ・「標準設定/データクリア」は、血圧計(TM-2430 シリーズ) の各設定項目（表示 ON/OFF、ID、現在時刻、測定間隔）を標準的パターンで一括に設定する機能です。
- ・各項目設定後、血圧計の内部測定データを消去（データクリア）します。
- ・一括設定完了後、設定値をプリントします。標準パターンの設定は次のとおりです。

設定項目	設定内容
表示ON/OFF	ON（血圧測定の結果を表示する）
ID	血圧計（TM-2430 シリーズ）に設定されているID値
時刻	本機（TM-2483）の現在日付時刻値
測定間隔	自動測定モードⅢ 06:00～05:59 30分間隔
測定データ	測定データを消去する（データクリア）

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で「標準設定データクリア（5秒押し）」キーを押し続けます。
1秒毎にブザーが「ピッ」となり、5秒後に長くブザーが鳴ります。
5秒間押し続ける前に操作を中断すると「AUTO / CLEAR FAILED」とプリントします。
- ② 一括設定を開始します。
各項目設定/データクリア後、設定値をプリントします。
 - ・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARED」とのメッセージをプリントします。
 - ・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージをプリントします。
- ③ 一括設定/印字を完了すると、スタンバイ状態に戻ります。



7.2.9. 設定内容印字

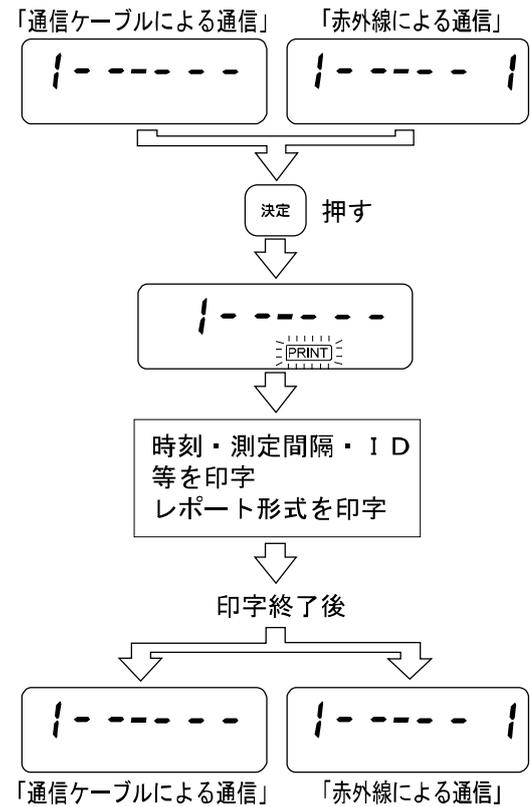
●内容説明

- ・ 血圧計 (TM-2430シリーズ) に設定している 時刻、測定間隔、ID等をプリントします。
- ・ 本機 (TM-2483) に設定しているレポート形式をプリントします。

●手順

○通信準備が終了した状態 (「7.2.1 通信の準備」参照) で **決定** キーを押します。プリントを開始します。

<h2>お知らせ</h2>
■ 血圧計を接続していない場合は、レポート形式のみをプリントします。

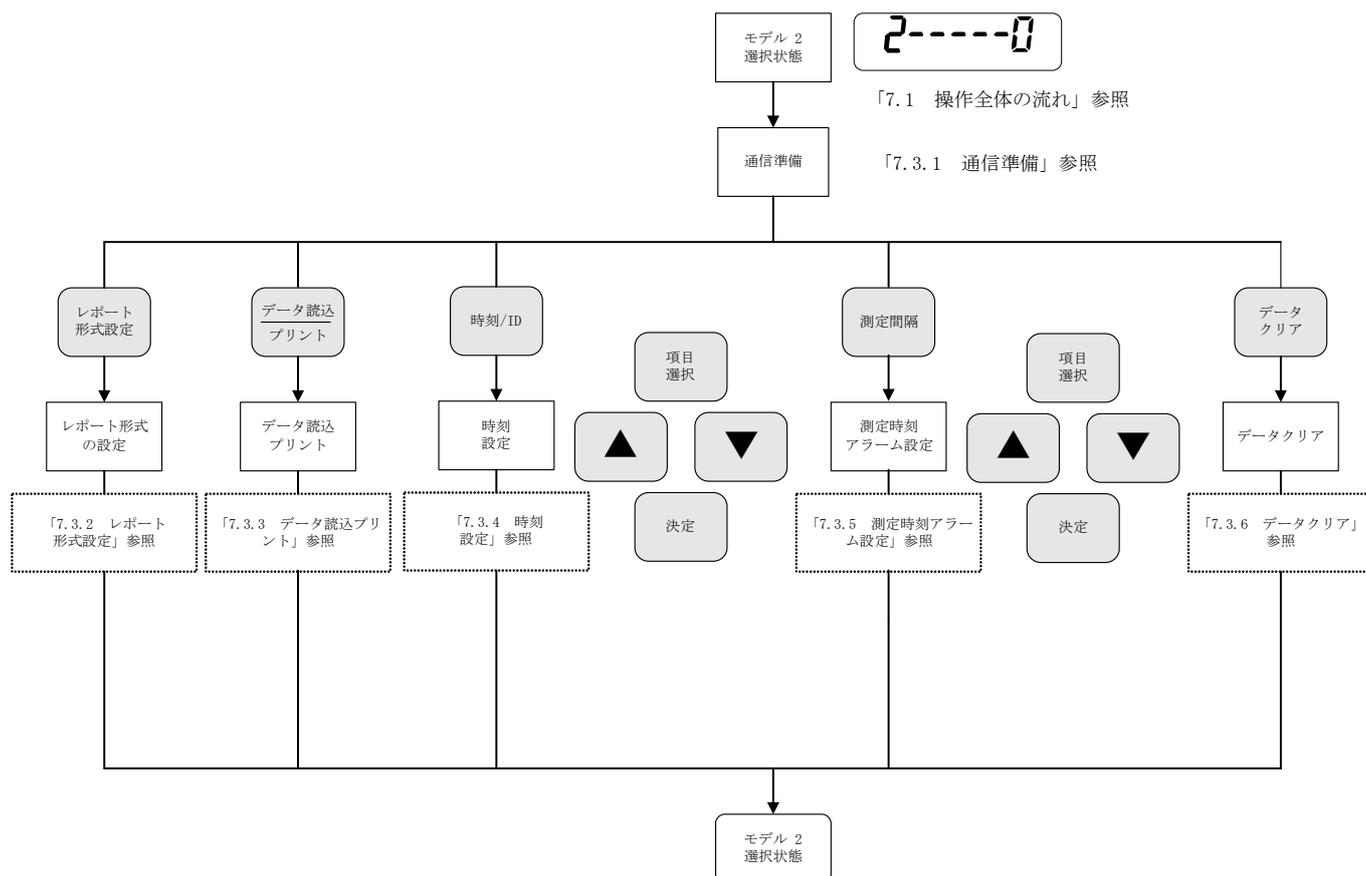


7.3. モデル 2 の操作・設定内容

「7.1 操作全体の流れ (7.1.1 モデル選択)」でモデル2を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名 : UA PC シリーズ

“モデル2”を選択した場合、本機 TM-2483 の使用可能な機能が限定されますので、使用可能な機能と各設定の内容について下表に示します。また、詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。



機能名称	内容	参照する章
レポート形式設定	測定データのレポートの形式を設定します。	「7.3.2 レポート形式設定」
データ読込プリント	測定データの読込 および 測定データのプリント	「7.3.3 データ読込・プリント」
時刻設定	時刻の設定	「7.3.4 時刻設定」
測定時刻アラーム設定	血圧計の測定時刻アラームを設定します。	「7.3.5 測定時刻アラーム設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「7.3.6 データクリア」

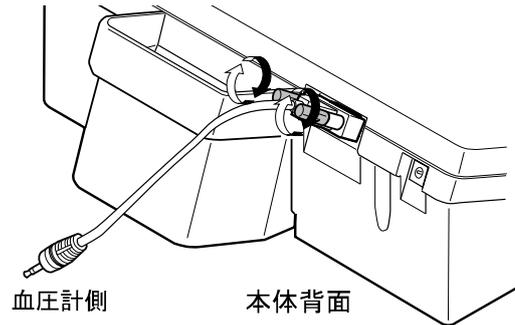
7.3.1. 通信の準備

モデル2では、通信方法は「通信ケーブルによる通信」のみです。

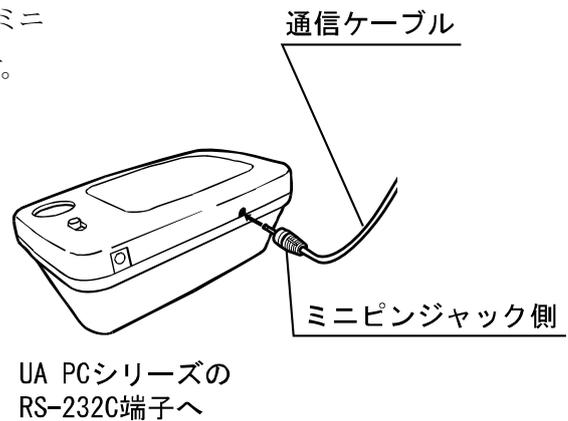
⚠ 注意	
!	<ul style="list-style-type: none">■ 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示に戻ります。

●手順

- ① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。
(「6. 使用前の準備」参照)



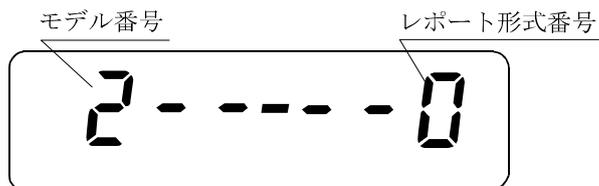
- ② 血圧計が時計を表示しているとき、付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計 (UA PCシリーズ) に接続します。



お知らせ	
	<ul style="list-style-type: none">■ 血圧計の種類によっては、準備の方法が異なる場合があります。詳しくは血圧計の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意	
!	<ul style="list-style-type: none">■ 血圧計のバッテリー残量が少ないと血圧計は通信モードになりません。血圧計の表示が次の場合には、血圧計のバッテリーを交換してください。 <p style="text-align: center;">⊗ 12:47</p>

7.3.2. レポート形式設定



●内容説明

- レポート形式設定は、本機の各条件を設定します。血圧計の測定データおよび時刻等は、変更されません。
- **レポート形式設定**キーを押すと、上記の表示となります。
- **レポート形式設定**キーを押すたびに右の「レポート形式番号」の設定値が変わります。
- レポート形式は、電源をOFFしても記憶しています。
- 項目番号と設定値の説明を下表に示します。

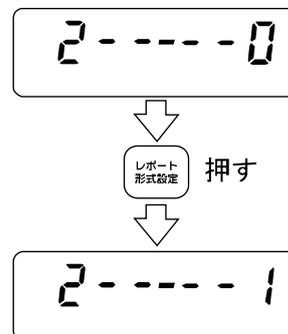
レポート形式番号	印字内容
0	テーブル+血圧グラフ（時間軸）+脈拍グラフ（時間軸） ・1ヶ月毎に処理します。
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ（非時間軸） ・全データを一括処理します。（グラフ表示はデータの記憶順です。）
2	テーブル

●設定手順

- ① **レポート形式設定** キーを押します。
レポート形式番号が0, 1, 2と替わります。

- ② プリントしたい内容のレポート形式番号に合わせます。

※選択と同時に確定し、数秒でスタンバイ状態に戻ります。
※選択したレポート形式番号は、電源をOFFしても記憶しています。



7.3.3. データ読込／プリント

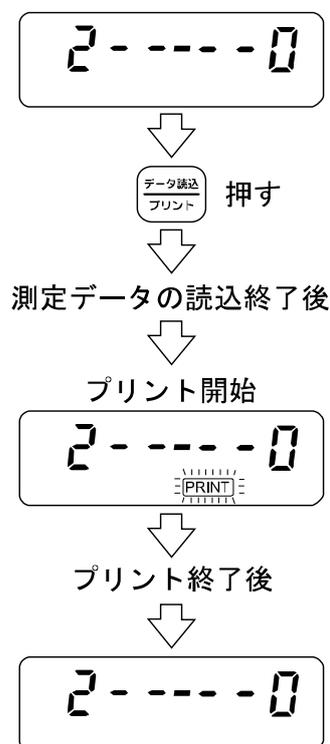
●内容説明

- ・ **データ読込／プリント** キーを押すと、血圧計（UA PC シリーズ）より測定データを読込みます。続いて、設定されているレポート形式にしたがい測定結果をプリントします。
- ・ 印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです。

レポート形式番号（印字形式）	印字内容
0	テーブル+血圧グラフ+脈拍グラフ
1	テーブル+血圧・脈拍グラフ
2	テーブル

●手順

- ① 通信の準備が出来ているか確認してください。
（「7.3.1 通信の準備」参照）
- ② **データ読込／プリント** キーを押します。
血圧計より測定データを読込みます。
- ③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は **PRINT** マークが点滅します。
- ④ プリントが終了すると、**PRINT** マークが消灯します。



7.3.4. 時刻設定



●内容説明

- ・時刻設定は、血圧計（UA PC シリーズ）の時刻を設定します。
- ・時刻／ID キーを押すと、上記の表示となります。
- ・時刻の設定中は、**TIME** マークが点灯します。
- ・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

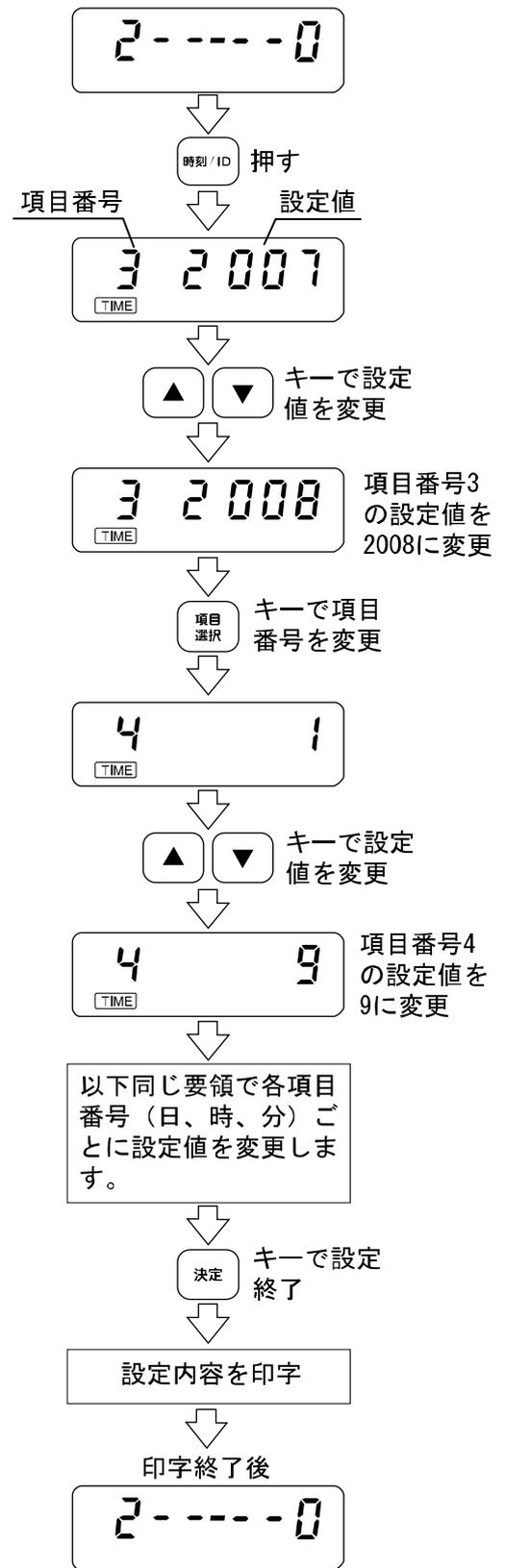
項目番号	設定値の範囲	設定内容
3	1997 ～ 2096	年（西暦4桁）
4	1 ～ 12	月
5	1 ～ 31	日（年・月を参照し、設定範囲を自動調整）
6	0 ～ 23	時（24時間表記）
7	00 ～ 59	分（常に2桁表示）

お知らせ

- 血圧計との接続が完了していない状態で時刻／ID キーを押した場合、本機内の日付時刻の設定モードになります。
設定変更後、**決定** キーを押すと本機内の日付時刻設定を更新します。

●設定手順

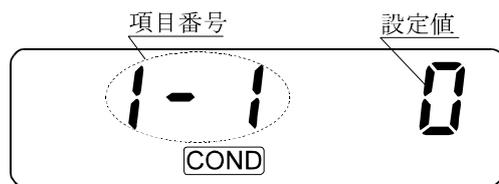
- ① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で **時刻/ID** キーを押します。
- ② **TIME** マーク が点灯し、項目番号「3」と、接続されている血圧計に現在設定されている設定値を表示します。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し変更してください。
 ※設定例では、項目番号3（西暦）の設定値を2008（2008年）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押して変更してください。また、設定値を変更する場合は **▲** **▼** キーで変更してください。
 ※設定例では、項目番号4（月）の設定値を9（9月）に変更しています。
- ⑤ 以降の項目番号（日、時、分）の変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、設定値を変更してください。
- ⑥ 変更が終了したら **決定** キーを押し、設定を終了してください。
 ※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、「時刻」設定を中止します。この場合、「時刻」の内容は変更されません。

7.3.5. 測定時刻アラーム設定



●内容説明

- 測定時刻アラーム設定は、血圧計（UA PC シリーズ）に測定時刻アラームを設定します。最大6個の時刻を設定できます。
- 測定間隔** キーを押すと、上記の表示となります。
- 測定時刻アラームの設定中は、**COND** マークが点灯します。
- 項目番号の説明を下表に示します。

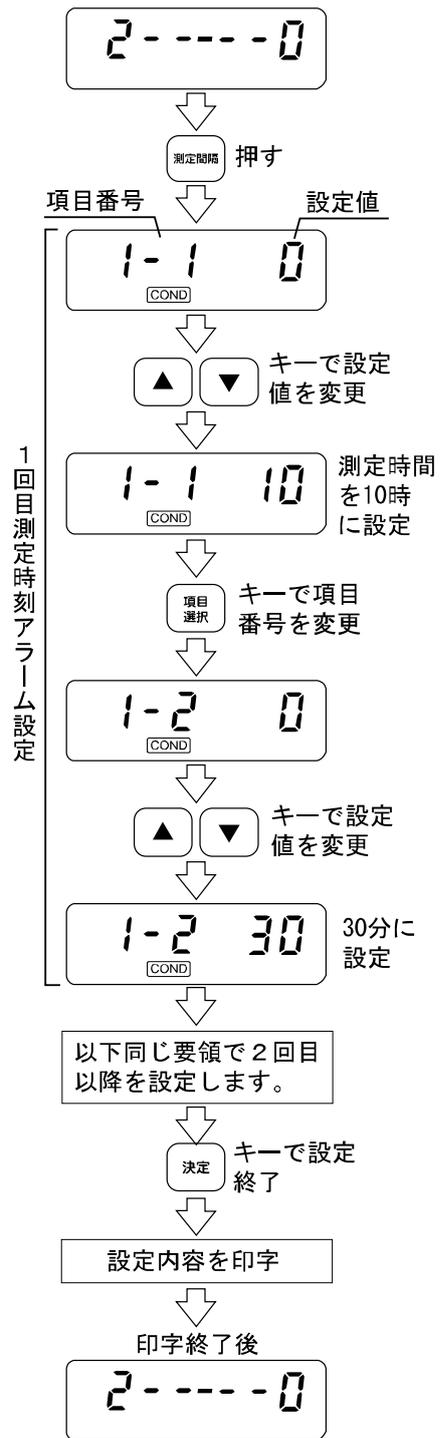
項目番号	設定値の範囲	設定内容
1-1	OFF, 0~23	1回目測定時間 (時)
1-2	0~59	1回目測定時間 (分)
2-1	OFF, 0~23	2回目測定時間 (時)
2-2	0~59	2回目測定時間 (分)
3-1	OFF, 0~23	3回目測定時間 (時)
3-2	0~59	3回目測定時間 (分)
4-1	OFF, 0~23	4回目測定時間 (時)
4-2	0~59	4回目測定時間 (分)
5-1	OFF, 0~23	5回目測定時間 (時)
5-2	0~59	5回目測定時間 (分)
6-1	OFF, 0~23	6回目測定時間 (時)
6-2	0~59	6回目測定時間 (分)

※ 測定時刻アラームの詳細については、血圧計（UA PC シリーズ）の取扱説明書をよくお読みください。

●設定手順

- ① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で **測定間隔** キーを押します。
- ② **COND** マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている1回目の測定時間の時刻情報を表示します。
- ③ 設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号1（1回目の測定時間（時））の設定値を10（10時）に変更しています。
- ④ 項目番号を変更する場合は、**項目選択** キーを押し変更してください。また、設定値を変更する場合は、**▲** **▼** キーで変更してください。
※設定例では、項目番号2（1回目の測定時間（分））の設定値を30（30分）に変更しています。
- ⑤ 2回目以降の測定時刻アラームの変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、時・分の設定値を変更してください。
- ⑥ 変更が終了したら **決定** キーを押し、設定を終了してください。

※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- **決定** キーを押さずに **取消** キーを押すと、「測定時刻アラーム」設定を中止します。この場合、「測定時刻アラーム」の内容は変更されません。

7.3.6. データクリア

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 「データクリア」すると、血圧計の測定データは消去され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの処理を完了してから「データクリア」を行ってください。■ 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

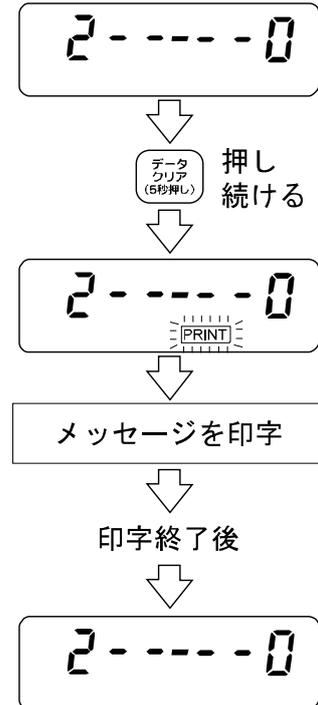
●内容説明

- ・データクリアは、血圧計（UA PCシリーズ）の測定データを消去します。

●手順

- 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で **データクリア（5秒押し）** キーを押し続けます。1秒毎にブザーが「ピッ」となり、5秒後に長くブザーが鳴ります。
 - ・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARD」とのメッセージをプリントします。
 - ・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージをプリントします。

お知らせ
<ul style="list-style-type: none">■ データクリア キーを5秒間押し続けなかった場合、測定データは消去されません。この場合「MEMORY CLEAR FAILED」とプリントします。



7.3.7. 設定内容印字

⚠ 注意



- 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると血圧計の電池を消耗します。
- 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示にも戻ります。

●内容説明

- ・血圧計に設定している 測定時刻アラームをプリントします。

●手順

- ① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で、**決定**キーを押します。プリントを開始します。

2 - - - - 0



決定 押す



2 - - - - 0
PRINT



測定時刻アラームを印字



印字終了後



2 - - - - 0

お知らせ

- 血圧計を接続していない場合は、プリントしません。

8. 印刷

以下は、TM-2430 シリーズ、および、UA PC シリーズを接続した場合の印刷例です。

印刷の出力結果は、機種によって異なる場合があるため、詳細は各血圧計本体の取扱説明書をご参照ください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ プリンタ用紙を印刷中に引っ張らないでください。 プリンタヘッドを損傷する恐れがあります。

8.1. 印刷例

次ページ参照ください。

8.1.1. 印刷例TM-2430シリーズの印字例 (FP)

24 時間毎に下記の順に印字します。

TYPE: MODEL1 (ABPM)

12/24 2007 ID. 1

h	min	DBP [mmHg]	SBP [mmHg]	PUL [b/min]	PUL ERR EU
0	00	111	141	96	78
0	15	121	151	89	82
0	30	123	153	92	87
0	45	132	162	98	93
1	00	132	162	98	93
1	15	142	172	105	88
1	30	143	173	108	88
1	45	143	173	96	76
2	00	129	159	98	71
2	15	119	149	98	82
2	30	129	159	98	82
2	45	135	165	108	69
3	00	144	174	100	68
3	15	149	179	103	73
3	30	149	179	99	73
3	45	149	179	99	73
4	00	133	163	99	73
4	15	133	163	99	73
4	30	140	170	99	73
4	45	139	169	99	73
5	00	125	155	99	73
5	15	110	140	110	88
5	30	110	140	110	88
5	45	110	140	110	88
6	00	110	140	110	88
6	15	110	140	110	88
6	30	110	140	110	88
6	45	110	140	110	88
7	00	110	140	110	88
7	15	110	140	110	88
7	30	110	140	110	88
7	45	110	140	110	88
8	00	110	140	110	88
8	15	110	140	110	88
8	30	110	140	110	88
8	45	110	140	110	88
9	00	110	140	110	88
9	15	110	140	110	88
9	30	110	140	110	88
9	45	110	140	110	88
10	00	110	140	110	88
10	15	110	140	110	88
10	30	110	140	110	88
10	45	110	140	110	88
11	00	110	140	110	88
11	15	110	140	110	88
11	30	110	140	110	88
11	45	110	140	110	88
12	00	110	140	110	88
12	15	110	140	110	88
12	30	110	140	110	88
12	45	110	140	110	88
13	00	110	140	110	88
13	15	110	140	110	88
13	30	110	140	110	88
13	45	110	140	110	88
14	00	110	140	110	88
14	15	110	140	110	88
14	30	110	140	110	88
14	45	110	140	110	88
15	00	110	140	110	88
15	15	110	140	110	88
15	30	110	140	110	88
15	45	110	140	110	88
16	00	110	140	110	88
16	15	110	140	110	88
16	30	110	140	110	88
16	45	110	140	110	88
17	00	110	140	110	88
17	15	110	140	110	88
17	30	110	140	110	88
17	45	110	140	110	88
18	00	110	140	110	88
18	15	110	140	110	88
18	30	110	140	110	88
18	45	110	140	110	88
19	00	110	140	110	88
19	15	110	140	110	88
19	30	110	140	110	88
19	45	110	140	110	88
20	00	110	140	110	88
20	15	110	140	110	88
20	30	110	140	110	88
20	45	110	140	110	88
21	00	110	140	110	88
21	15	110	140	110	88
21	30	110	140	110	88
21	45	110	140	110	88
22	00	110	140	110	88
22	15	110	140	110	88
22	30	110	140	110	88
22	45	110	140	110	88
23	00	110	140	110	88
23	15	110	140	110	88
23	30	110	140	110	88
23	45	110	140	110	88
24	00	110	140	110	88
24	15	110	140	110	88
24	30	110	140	110	88
24	45	110	140	110	88

12/25 2007 ID. 1

h	min	DBP [mmHg]	SBP [mmHg]	PUL [b/min]	PUL ERR EU
0	00	124	154	97	68
0	15	111	141	97	68
0	30	111	141	97	68
0	45	111	141	97	68
1	00	113	143	97	68
1	15	113	143	97	68
1	30	113	143	97	68
1	45	113	143	97	68
2	00	112	142	97	68
2	15	112	142	97	68
2	30	112	142	97	68
2	45	112	142	97	68
3	00	107	137	97	68
3	15	107	137	97	68
3	30	107	137	97	68
3	45	107	137	97	68
4	00	103	133	97	68
4	15	103	133	97	68
4	30	103	133	97	68
4	45	103	133	97	68
5	00	103	133	97	68
5	15	103	133	97	68
5	30	103	133	97	68
5	45	103	133	97	68
6	00	103	133	97	68
6	15	103	133	97	68
6	30	103	133	97	68
6	45	103	133	97	68
7	00	103	133	97	68
7	15	103	133	97	68
7	30	103	133	97	68
7	45	103	133	97	68
8	00	103	133	97	68
8	15	103	133	97	68
8	30	103	133	97	68
8	45	103	133	97	68
9	00	103	133	97	68
9	15	103	133	97	68
9	30	103	133	97	68
9	45	103	133	97	68
10	00	103	133	97	68
10	15	103	133	97	68
10	30	103	133	97	68
10	45	103	133	97	68
11	00	103	133	97	68
11	15	103	133	97	68
11	30	103	133	97	68
11	45	103	133	97	68
12	00	103	133	97	68
12	15	103	133	97	68
12	30	103	133	97	68
12	45	103	133	97	68
13	00	103	133	97	68
13	15	103	133	97	68
13	30	103	133	97	68
13	45	103	133	97	68
14	00	103	133	97	68
14	15	103	133	97	68
14	30	103	133	97	68
14	45	103	133	97	68
15	00	103	133	97	68
15	15	103	133	97	68
15	30	103	133	97	68
15	45	103	133	97	68
16	00	103	133	97	68
16	15	103	133	97	68
16	30	103	133	97	68
16	45	103	133	97	68
17	00	103	133	97	68
17	15	103	133	97	68
17	30	103	133	97	68
17	45	103	133	97	68
18	00	103	133	97	68
18	15	103	133	97	68
18	30	103	133	97	68
18	45	103	133	97	68
19	00	103	133	97	68
19	15	103	133	97	68
19	30	103	133	97	68
19	45	103	133	97	68
20	00	103	133	97	68
20	15	103	133	97	68
20	30	103	133	97	68
20	45	103	133	97	68
21	00	103	133	97	68
21	15	103	133	97	68
21	30	103	133	97	68
21	45	103	133	97	68
22	00	103	133	97	68
22	15	103	133	97	68
22	30	103	133	97	68
22	45	103	133	97	68
23	00	103	133	97	68
23	15	103	133	97	68
23	30	103	133	97	68
23	45	103	133	97	68
24	00	103	133	97	68
24	15	103	133	97	68
24	30	103	133	97	68
24	45	103	133	97	68

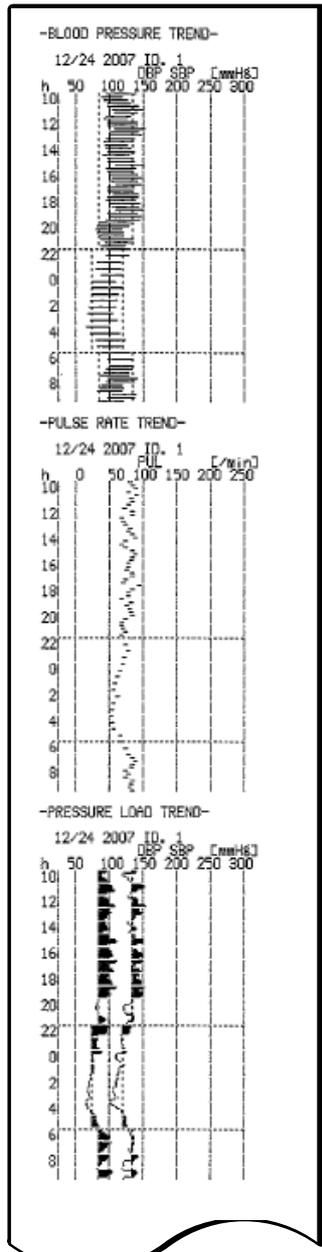
BLOCK1 0 TO 0 HOUR
N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
DBP AVE= 93 S.D.= 10.0
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SBP > 135/120: 32.2[mmHg·h]
DBP > 85/ 75: 227.8[mmHg·h]

TOTAL<24H> 10 TO 10 HOUR
N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SBP > 135/120: 32.2[mmHg·h]
DBP > 85/ 75: 227.8[mmHg·h]
ERR RATE: 1.3[%]
EJECT COUNT: 0

AWAKE 6 TO 22 HOUR
N= 62
SBP AVE=139 S.D.= 9.9
DBP AVE= 96 S.D.= 7.4
PUL AVE= 79 S.D.= 6.5
PRESSURE LOAD
SBP > 135 : 74.1[mmHg·h]
DBP > 85 : 185.5[mmHg·h]

SLEEP 22 TO 6 HOUR
N= 17
SBP AVE=119 S.D.= 9.5
DBP AVE= 90 S.D.= 10.1
PUL AVE= 69 S.D.= 9.6
PRESSURE LOAD
SBP > 120: 18.1[mmHg·h]
DBP > 75: 42.2[mmHg·h]

テーブル



血圧グラフ

脈拍グラフ

圧負荷グラフ

- 同時刻データの扱い

次のとおり、①、②の順で同時刻に連続して測定した場合

- ① 9:00 測定値 A
- ② 9:00 測定値 B

①②共にテーブル印字し、24 時間統計処理等の解析対象とします。

グラフ印字の際は、最初の結果を印字します。(上記例の場合、①測定値 A のグラフを印字)

- 時間が戻った場合の処理

次のとおり、時刻設定を戻した場合

- ① 9:00 測定値 A
(時刻設定を 8:00 に変更して測定開始)
- ② 8:00 測定値 B
- ③ 8:30 測定値 C
- ④ 9:00 測定値 D

この場合、測定値すべてをテーブル印字します。

ただし、②③は除外マーク“AE”をつけ、24 時間統計処理等の解析対象としません。

除外マーク“AE”は、EV 欄に印字します。

除外マークをつけたデータ数を“EJECT COUNT”として印字します。

- 印字タイトルの説明

印字タイトル名	意味
SBP	最高血圧
DBP	最低血圧
WAVE	24 時間平均血圧 = (昼間平均値×覚醒時間+夜間血圧平均値×睡眠時間) /24 時間
EJECT COUNT	除外マーク“AE”のカウンント(回数)値

●印字例の説明（レポート形式設定 項目番号2 の設定がFP の場合）

テーブルデータ印字

TYPE	MODEL1 (ABPM)	モデル番号			
12/24 2007	ID. 1	測定年月日 / ID番号			
SBP	DBP	MMHg	PULC	/min	データの単位
TIME	SBP	DBP	PUL	ERR	EU
測定時間	収縮期血圧 (最高血圧)	拡張期血圧 (最低血圧)	脈拍	エラーコード	
1	10:00	141	96	78	
2	10:15	121	89	82	
3	10:30	128	92	87	
4	10:45	132	98	76	
5	11:00	146	99	86	
6	11:15	153	105	80	
7	11:30	142	108	83	
8	11:45	137	96	76	
9	12:00	129	93	71	
10	12:15				E07
11	12:18	143	98	82	*
12	12:30	143	98	82	
13	12:45	155	108	67	
14	13:00	144	100	68	
15	13:15	149	103	78	
16	13:30	158	96	79	
17	13:45	157	92	76	
18	14:00	129	95	83	
19	14:15	133	97	87	
20	14:30	140	99	73	
21	14:45	131	91	66	
22	15:00	138	99	72	
23	15:15	138	98	82	
24	15:30	151	110	84	
25	15:45	141	96	83	
26	16:00	135	99	81	
27	16:15	143	103	76	
28	16:30	149	105	77	
29	16:45	144	101	75	
30	17:00	149	110	82	
31	17:15	138	98	83	
32	17:30	155	98	73	
33	17:45	146	107	68	
34	18:00	144	98	92	
35	18:15	140	96	88	
36	18:30	147	102	76	
37	18:45	146	105	77	
38	19:00	153	111	66	
39	19:15	144	99	80	
40	19:30	150	103	75	
41	19:45	147	96	78	
42	20:00	135	85	80	
43	20:15	132	88	88	
44	20:30	127	81	73	
45	20:45	123	83	66	
46	21:00	124	85	67	
47	21:15	136	88	68	
48	21:30	137	95	72	
49	21:45	126	89	66	
50	22:00	132	98	81	
51	22:10	139	96	75	S
52	22:30	131	96	73	
53	23:00	118	82	77	
54	23:30	120	81	71	
24時間分 { この場合 10:00 ~翌日 9:59 }					
日付の切り替わり					
55	0:00	124	89	68	
56	0:30	111	77	64	
57	1:00	123	76	61	
58	1:30	115	77	57	
59	2:00	112	72	55	
60	2:30	111	70	60	
61	3:00	107	68	55	
62	3:30	113	73	53	
63	4:00	103	66	50	
64	4:30	118	73	55	
65	5:00	125	81	55	
66	5:30	124	83	64	
67	6:00	129	89	66	
68	6:30	137	98	72	
69	7:00	137	103	77	
70	7:15	134	96	82	
71	7:30	131	92	87	
72	7:45	132	87	88	
73	8:00	142	98	80	
74	8:15	139	96	73	
75	8:30	122	89	77	
76	8:45	123	87	75	
77	9:00	120	82	82	
78	9:15	140	104	80	
79	9:30	139	99	79	
80	9:45	122	84	82	

- マニュアルスタートの時 “*” マーク印字
- 自動測定・モードIIの動作時の “S” マークが点灯中に測定した場合 “S” マークを印字

統計データ印字

```

BLOCK1      0 TO 0 HOUR
              N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
PUL AVE= 74 S.D.=  9.3
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 227.8[mmHg·h]

TOTAL<24H> 10 TO 10 HOUR
              N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
WAVE=131
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
WAVE= 90
PUL AVE= 74 S.D.=  9.3
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 227.8[mmHg·h]
ERR RATE : 1.3[%]
EJECT COUNT:  0

AWAKE       6 TO 22 HOUR
              N= 62
SBP AVE=133 S.D.=  8.9
DBP AVE= 96 S.D.=  7.4
PUL AVE= 77 S.D.=  6.5
PRESSURE LOAD
SBP>135 : 74.1[mmHg·h]
DBP> 85 : 185.5[mmHg·h]

SLEEP      22 TO 6 HOUR
              N= 17
SBP AVE=119 S.D.=  9.5
DBP AVE= 80 S.D.= 10.1
PUL AVE= 63 S.D.=  9.6
PRESSURE LOAD
SBP> 120: 18.1[mmHg·h]
DBP>  75: 42.2[mmHg·h]
    
```

測定間隔ブロック毎に印字します。
ただし、測定データを読込んだ時、同時に測定間隔ブロックの情報を読み込みますので実際の測定時のブロックには依存しません。

24時間の統計結果です。

起床時の統計結果です。

就床時の統計結果です。

```

BLOCK1      6 TO 18 HOUR
              N= 46
SBP AVE=137 S.D.=  8.6
DBP AVE= 97 S.D.=  6.6
PUL AVE= 78 S.D.=  6.0
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 52.0[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 148.8[mmHg·h]

BLOCK2     18 TO 22 HOUR
              N= 16
SBP AVE=138 S.D.= 10.1
DBP AVE= 94 S.D.=  9.1
PUL AVE= 75 S.D.=  7.5
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 22.1[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 36.8[mmHg·h]

BLOCK3     22 TO 6 HOUR
              N= 17
SBP AVE=119 S.D.=  9.5
DBP AVE= 80 S.D.= 10.1
PUL AVE= 63 S.D.=  9.6
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 18.1[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 42.2[mmHg·h]

TOTAL<24H> 10 TO 10 HOUR
              N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
WAVE=131
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
WAVE= 90
PUL AVE= 74 S.D.=  9.3
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 227.8[mmHg·h]
ERR RATE : 1.3[%]
EJECT COUNT:  0

AWAKE       6 TO 22 HOUR
              N= 62
SBP AVE=138 S.D.=  8.9
DBP AVE= 96 S.D.=  7.4
PUL AVE= 77 S.D.=  6.5
PRESSURE LOAD
SBP>135 : 74.1[mmHg·h]
DBP> 85 : 185.5[mmHg·h]

SLEEP      22 TO 6 HOUR
              N= 17
SBP AVE=119 S.D.=  9.5
DBP AVE= 80 S.D.= 10.1
PUL AVE= 63 S.D.=  9.6
PRESSURE LOAD
SBP> 120: 18.1[mmHg·h]
DBP>  75: 42.2[mmHg·h]
    
```

上段の統計データと同じ元データを使用し、測定間隔のブロックだけ変更して印字した例です。

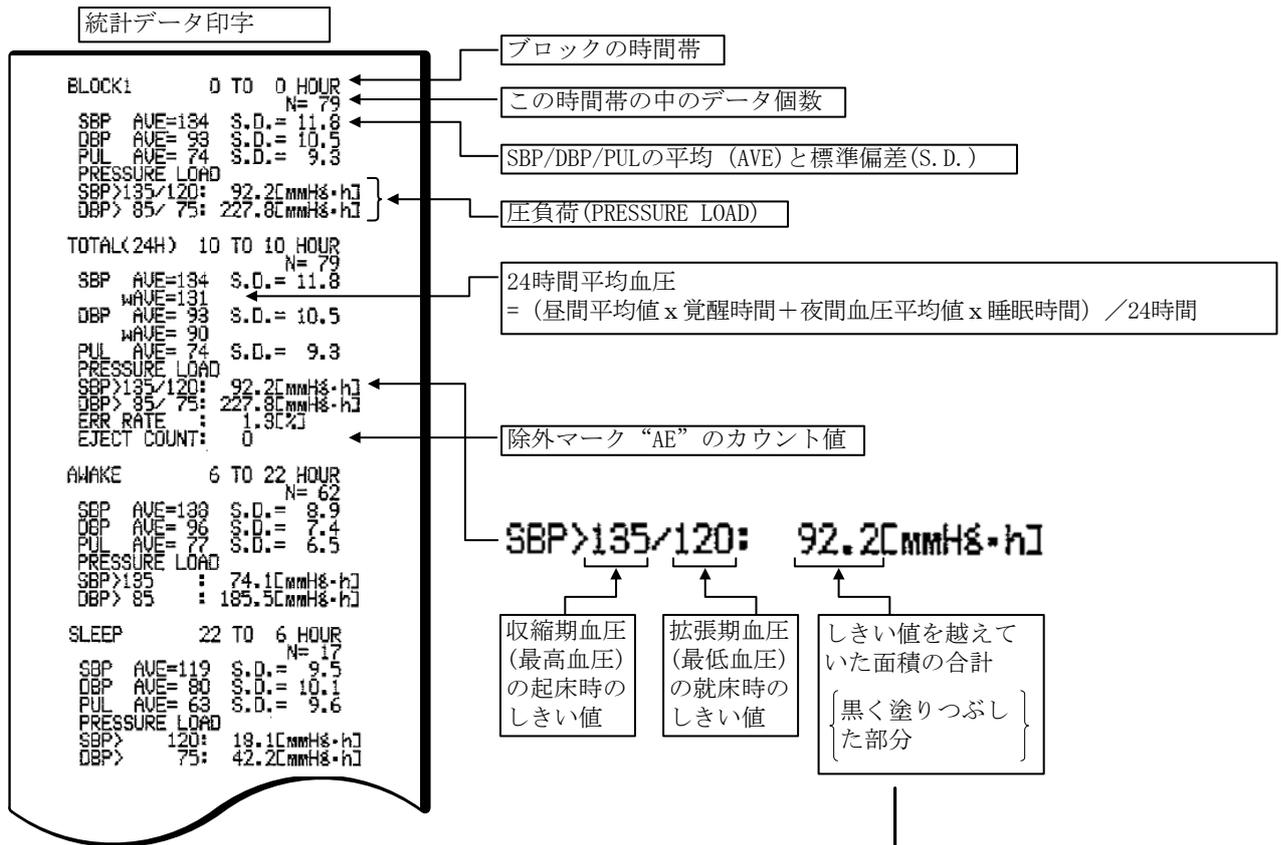
3ブロックに変更しました。

左図の例のように3ブロックに変更する方法を以下に示します。

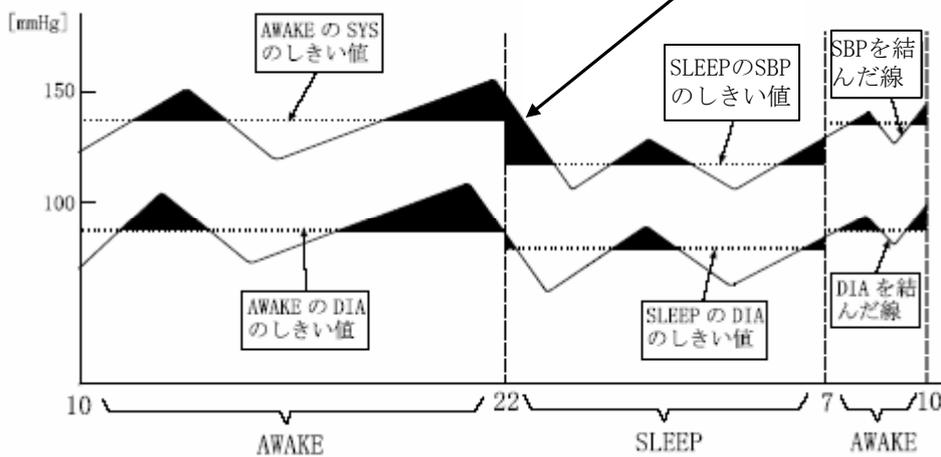
●変更方法

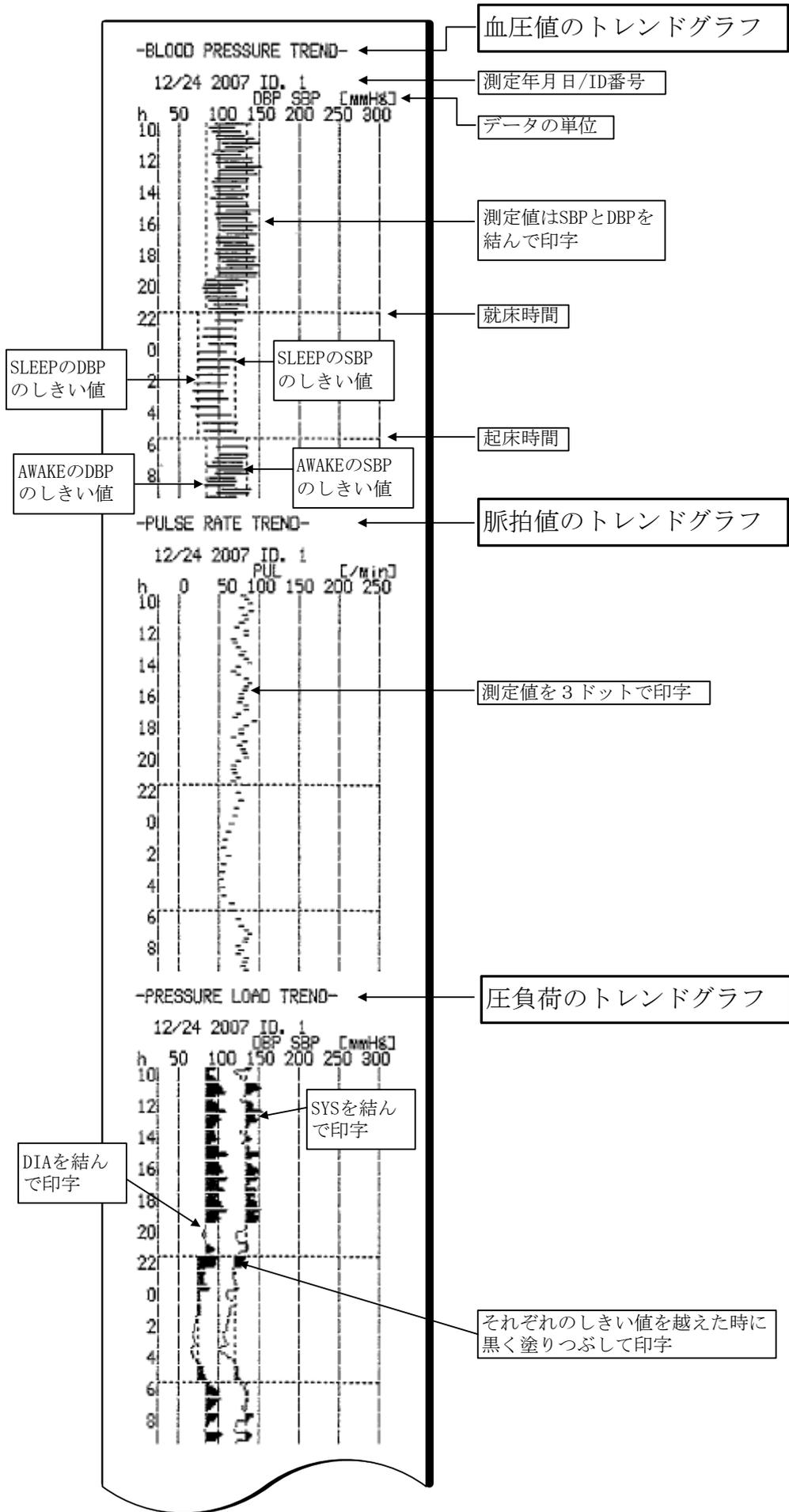
- ※血圧計は接続状態にしておいてください。
- ①血圧計の測定間隔のブロックを変更します。
(「7.2.5 測定間隔設定」参照)
- ② データ読込/プリント キーを押します。

TOTAL(24H) / AWAKE / SLEEP は上段の印字と同じになります。



PRESSURE LOAD TREND





8.1.2. 印刷例TM-2430シリーズの印字例 (AU)

測定開始から1時間のデータ、及び信頼性のないデータを解析対象から除外し印字します。

測定開始～1時間：
解析除外期間のデ
ータです。

```

TYPE: MODEL1 (ASPM)
12/24 2007 ID. 1
SBP DBP PUL CmmHg PUL/min TIME SBP DBP PUL ERR EU
DATA during the first hour
1 10:00 141 96 78
2 10:15 131 85 83
3 10:30 138 92 82
4 10:45 132 98 76
5 11:00 146 99 88
6 11:15 133 105 80
7 11:30 134 106 83
8 11:45 135 98 80
9 12:00 124 93 71
10 12:15
11 12:18 143 98 82
12 12:30 143 98 82
13 12:45 155 108 87
14 13:00 143 100 88
15 13:15 143 103 83
16 13:30 138 96 78
17 13:45 137 92 76
18 14:00 129 84 83
19 14:15 138 97 87
20 14:30 140 99 73
21 14:45 151 111 82
22 15:00 151 110 87
23 15:15 145 105 83
24 15:30 151 110 87
25 15:45 141 96 83
26 16:00 135 99 81
27 16:15 130 98 80
28 16:30 130 98 80
29 16:45 144 101 77
30 17:00 149 110 82
31 17:15 138 98 83
32 17:30 135 98 83
33 17:45 146 107 82
34 18:00 144 98 82
35 18:15 140 98 83
36 18:30 147 102 83
37 18:45 146 105 77
38 19:00 138 111 86
39 19:15 144 99 80
40 19:30 170 109 77
41 19:45 147 96 83
42 20:00 131 91 86
43 20:15 132 83 86
44 20:30 122 81 83
45 20:45 123 83 86
46 21:00 124 85 87
47 21:15 136 89 83
48 21:30 140 96 84
49 21:45 147 102 83
50 22:00 132 98 81
51 22:15 136 98 80
52 22:30 131 96 73
53 22:45 118 82 71
54 23:30 120 81 71
12/25 2007 ID. 1
55 0:00 124 89 68
56 0:30 111 77 64
57 1:00 123 76 65
58 1:30 115 77 64
59 2:00 117 76 60
60 2:30 117 76 60
61 3:00 107 68 55
62 3:30 118 73 65
63 4:00 108 66 50
64 4:30 118 73 52
65 5:00 125 81 54
66 5:30 124 80 55
67 6:00 124 80 54
68 6:30 137 93 68
69 7:00 137 103 77
70 7:15 134 96 82
71 7:30 131 92 87
72 7:45 132 97 83
73 8:00 124 86 80
74 8:15 136 96 73
75 8:30 122 83 77
76 8:45 123 87 72
77 9:00 120 82 79
78 9:15 130 90 79
79 9:45 132 92 82
80 9:45 122 84 82
BLOCK1 0 TO 0 HOUR
N=79
SBP AVE=134 S.D.=11.9
DBP AVE=93 S.D.=10.7
PUL AVE=74 S.D.=9.4
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 90.8[mmHg-h]
DBP>85/75: 218.7[mmHg-h]
TOTAL(24H) 11 TO 11 HOUR
N=79
SBP AVE=134 S.D.=11.9
DBP AVE=93 S.D.=10.7
PUL AVE=74 S.D.=9.4
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 90.8[mmHg-h]
DBP>85/75: 218.7[mmHg-h]
ERR RATE : 0.0[%]
EJECT COUNT: 1
AWAKE 6 TO 22 HOUR
N=58
SBP AVE=138 S.D.=9.8
DBP AVE=87 S.D.=7.9
PUL AVE=77 S.D.=6.5
PRESSURE LOAD
SBP>135 : 72.0[mmHg-h]
DBP>85 : 176.4[mmHg-h]
SLEEP 22 TO 6 HOUR
N=17
SBP AVE=119 S.D.=9.5
DBP AVE=80 S.D.=10.1
PUL AVE=63 S.D.=9.6
PRESSURE LOAD
SBP>120 : 18.1[mmHg-h]
DBP>75 : 42.2[mmHg-h]
    
```

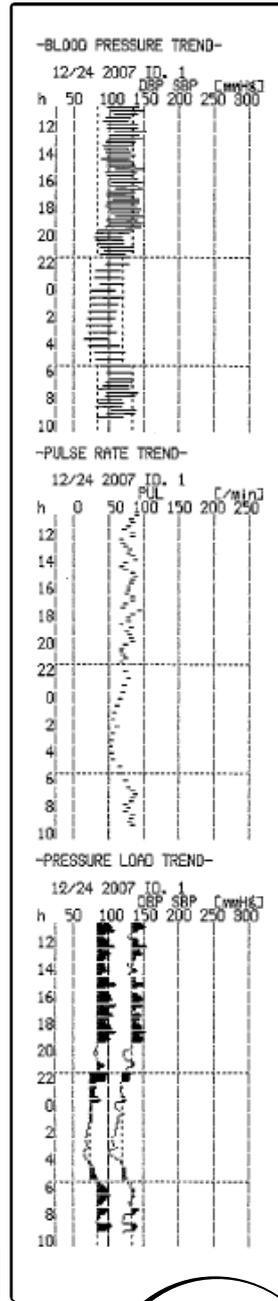
テーブル

測定間隔設定毎
の統計結果で
す。

全データの統計
結果です。

起床時間内の統
計結果です。

就床時間内の統
計結果です。



血圧グラフ

脈拍グラフ

圧負荷グラフ

●印字例の説明（レポート形式設定 項目番号2 の設定がAU の場合のテーブル印字）

測定開始～1時間：
解析除外期間のデータです。

24時間分
この場合 11:00
～翌日 10:59

TYPE: MODEL1 (ABPM)					
12/24 2007 ID. 1					
	TIME	SBP	DBP	PUL	ERR EU
DATA during the first hour					
1	10:00	141	96	78	
2	10:15	121	89	82	
3	10:30	128	92	87	
4	10:45	132	98	76	

5	11:00	146	99	88	
6	11:15	133	105	80	
7	11:30	124	100	80	
8	11:45	132	96	76	
9	12:00	129	93	71	
10	12:15	143	98	82	
11	12:30	143	98	82	
12	12:45	155	108	67	
13	13:00	144	100	98	
14	13:15	132	96	76	
15	13:30	138	97	87	
16	13:45	129	92	76	
17	14:00	129	92	88	
18	14:15	138	97	87	
19	14:30	140	99	73	
20	14:45	131	91	66	
21	15:00	138	98	92	
22	15:15	138	98	86	
23	15:30	151	108	87	
24	15:45	141	96	83	
25	16:00	148	99	81	
26	16:15	148	103	76	
27	16:30	149	105	77	
28	16:45	144	101	75	
29	17:00	149	110	82	
30	17:15	138	98	83	
31	17:30	153	98	83	
32	17:45	146	107	68	
33	18:00	144	98	92	
34	18:15	140	96	89	
35	18:30	147	102	76	
36	18:45	146	105	77	
37	19:00	144	111	66	
38	19:15	150	109	80	
39	19:30	147	106	78	
40	20:00	122	88	80	
41	20:15	132	88	85	
42	20:30	122	81	73	
43	20:45	123	83	66	
44	21:00	124	85	67	
45	21:15	126	88	68	
46	21:30	126	89	64	
47	21:45	126	89	66	
48	22:00	132	98	81	
49	22:15	139	98	75	
50	22:30	131	96	73	
51	22:45	118	82	77	
52	23:00	120	81	71	
53	23:30	120	81	71	

12/25 2007 ID. 1					
55	0:00	124	89	68	
56	0:30	111	77	64	
57	1:00	123	76	61	
58	1:30	115	77	57	
59	2:00	112	72	55	
60	2:30	111	70	60	
61	3:00	107	68	55	
62	3:30	108	73	48	
63	4:00	108	66	40	
64	4:30	118	73	50	
65	5:00	125	81	55	
66	5:30	124	83	64	
67	6:00	129	89	66	
68	6:30	137	98	72	
69	7:00	137	103	77	
70	7:15	134	96	82	
71	7:30	131	93	89	
72	7:45	132	87	89	
73	8:00	142	98	80	
74	8:15	138	98	73	
75	8:30	122	89	77	
76	8:45	123	87	72	
77	9:00	120	82	82	
78	9:15	140	104	80	
79	9:30	132	99	78	
80	9:45	122	84	82	

モデル番号

測定年月日/ ID番号

データの単位

TIME SBP DBP PUL ERR EU

測定時間 収縮期血圧 (最高血圧) 拡張期血圧 (最低血圧) 脈拍 エラーコード

エラーコード

マニュアルスタート

除外マーク

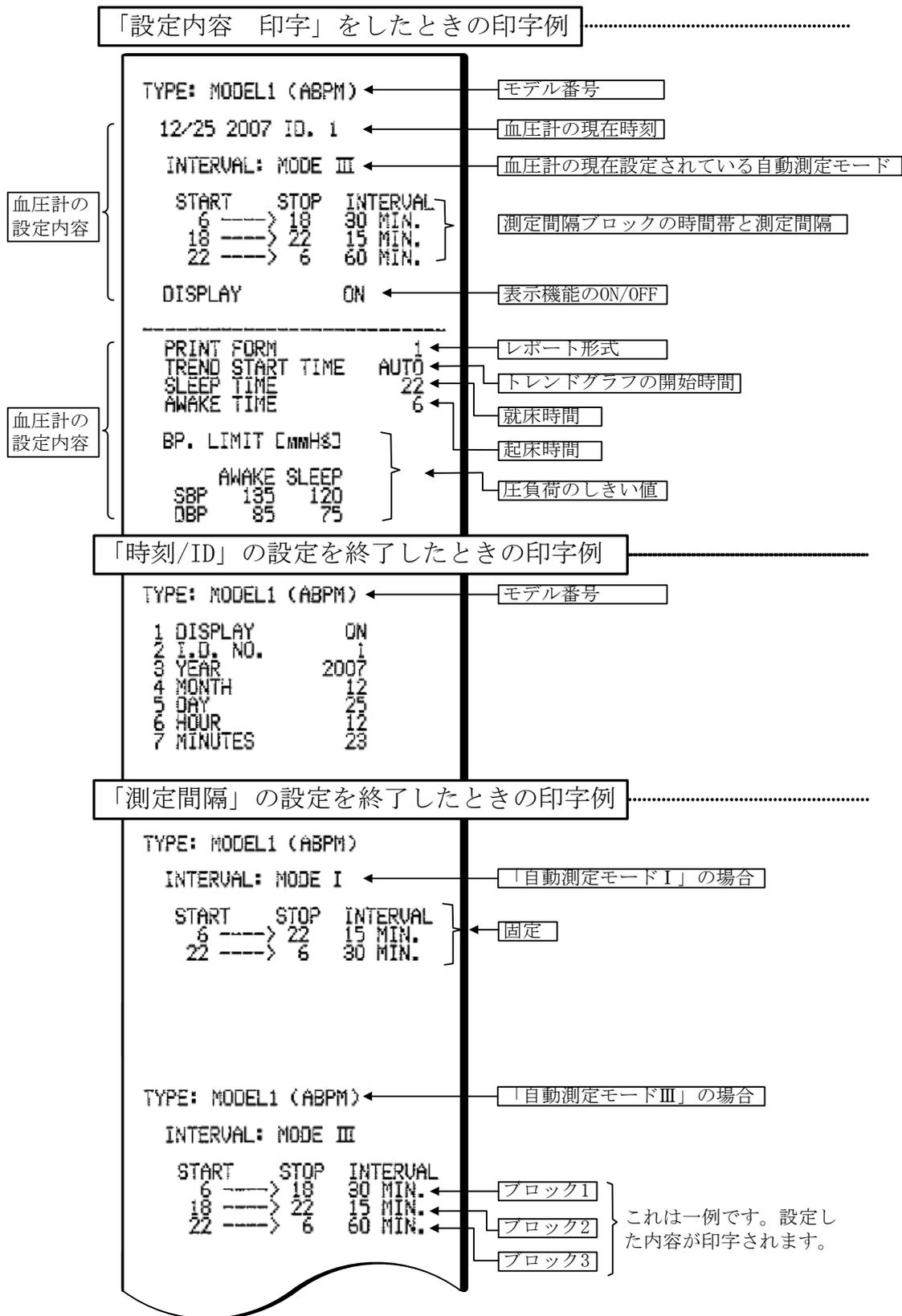
※除外マーク“AE”印字の判定

- 信頼性のないデータと判定
 - SBP < 70mmHg
 - SBP > 250mmHg
 - DBP < 30mmHg
 - DBP > 130mmHg
 - 脈圧 < 20mmHg
 - 脈圧 > 160mmHg
 - 脈圧 ≤ 0.41*DBP (60~150mmHgの範囲) - 17 mmHg
- 時刻設定が戻された場合

Sマーク点灯中にマニュアル測定

- マニュアルスタートの時 “*” マーク印字
- 自動測定・モードⅡの動作時の“S”マークが点灯中に測定した場合 “S” マークを印字
- 除外マーク“AE”を印字

8.1.3. 印刷例TM-2430シリーズの印字例 (設定等)



「標準設定」を完了したときの印字例

本機 (TM-2483) の
現在日付
時刻値で
設定

```

MEMORY CLEARED
TYPE: MODEL1 (ABPM)
1 DISPLAY          ON
2 I.D. NO.        1
3 YEAR            2007
4 MONTH           12
5 DAY             24
6 HOUR            10
7 MINUTES         19

INTERVAL: MODE III
START  STOP  INTERVAL
6 ----> 6   30 MIN.
        
```

← 測定データ消去完了

← 血圧計の表示機能のON/OFFをONに設定

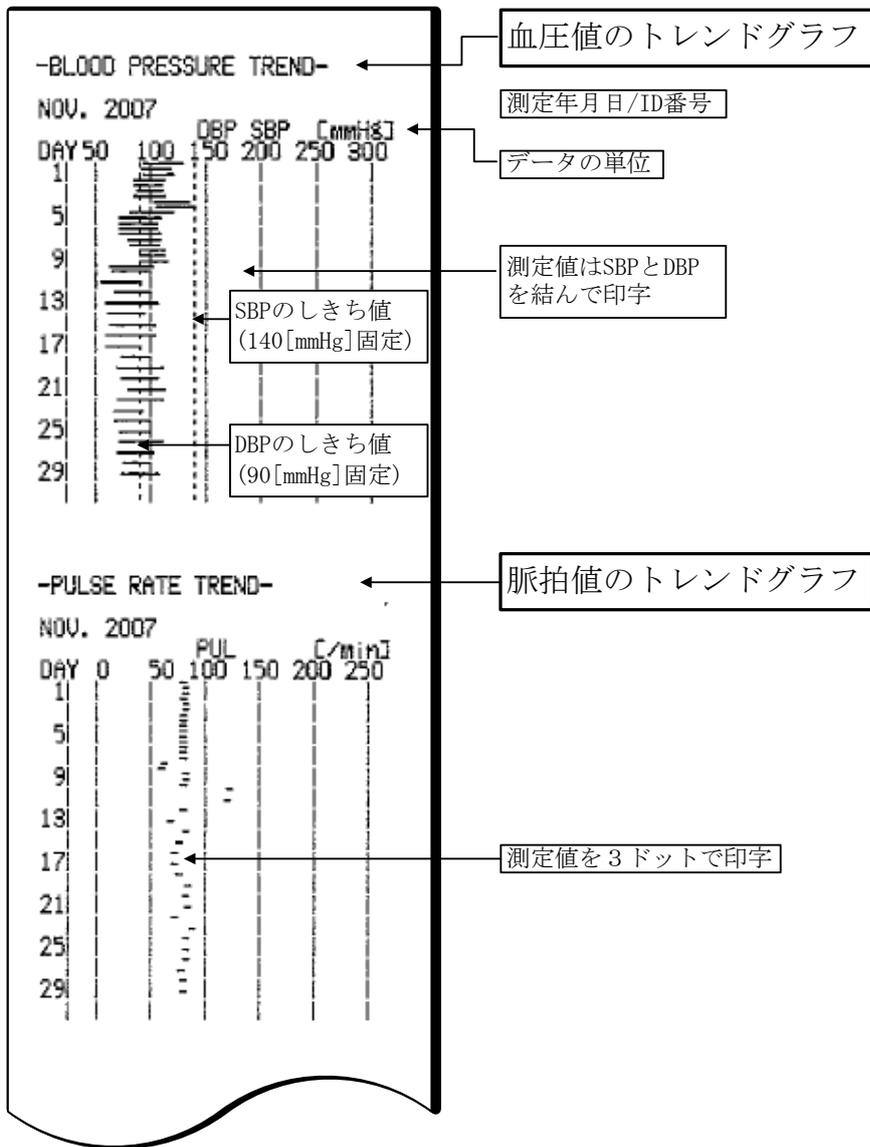
← 血圧計の現在設定されているID

← 自動測定モードIII

{ 06:00~05:59 30分間隔 }

「標準設定」の途中でキーの押下を中断したときの印字例

AUTO / CLEAR FAILED



血圧値のトレンドグラフ

測定年月日/ID番号

データの単位

測定値はSBPとDBP
を結んで印字

脈拍値のトレンドグラフ

測定値を3ドットで印字

「測定時刻アラーム」の設定を終了した時の印字

TYPE: MODEL2 (8 CBPM)

MEASUREMENT TIME

1	10:00
2	12:30
3	16:00
4	20:00
5	22:00
6	6:30

モデル番号

測定時刻アラーム

「時刻」の設定を終了した時の印字

TYPE: MODEL2 (8 CBPM)

3	YEAR	2007
4	MONTH	12
5	DAY	24
6	HOUR	12
7	MINUTES	20

血圧計の現在時刻

- 非時間軸の印字例
月毎にデータを一括処理します。

```

TYPE: MODEL2 (8 CBPM)
2007
  SBP DBP CmmH&] PUL [ /min]
  DATE TIME SBP DBP PUL
1 11/ 1 7:32 132 95 79
2 11/ 1 21:02 120 92 80
3 11/ 2 7:07 124 95 80
4 11/ 2 22:09 115 86 79
5 11/ 3 6:59 112 86 80
6 11/ 3 22:16 113 88 80
7 11/ 4 8:00 116 87 79
8 11/ 4 23:01 136 104 79
9 11/ 5 7:23 143 106 79
10 11/ 5 21:56 122 82 79
11 11/ 6 7:13 110 72 79
12 11/ 6 20:00 109 72 79
13 11/ 7 7:05 109 72 79
14 11/ 7 21:39 111 72 79
15 11/ 8 7:24 110 80 79
16 11/ 8 23:03 109 83 60
17 11/ 9 8:25 115 92 59
18 11/ 9 21:54 116 91 80
19 11/10 8:13 117 90 80
20 11/10 19:43 104 64 79
21 11/11 6:25 102 66 120
22 11/12 8:04 93 56 118
23 11/13 8:05 102 68 78
24 11/14 7:16 109 60 67
25 11/15 7:12 98 63 81
26 11/16 8:03 106 64 74
27 11/17 8:11 107 61 71
28 11/18 7:12 92 60 71
29 11/19 7:31 104 75 74
30 11/20 8:19 112 70 83
31 11/21 7:24 109 75 81
32 11/22 8:17 115 80 83
33 11/23 7:54 112 70 71
34 11/24 8:25 95 68 87
35 11/25 7:17 101 68 81
36 11/26 8:07 103 72 80
37 11/27 7:08 113 73 81
38 11/28 6:59 104 70 76
39 11/29 7:10 103 76 79
40 11/30 8:07 109 74 79

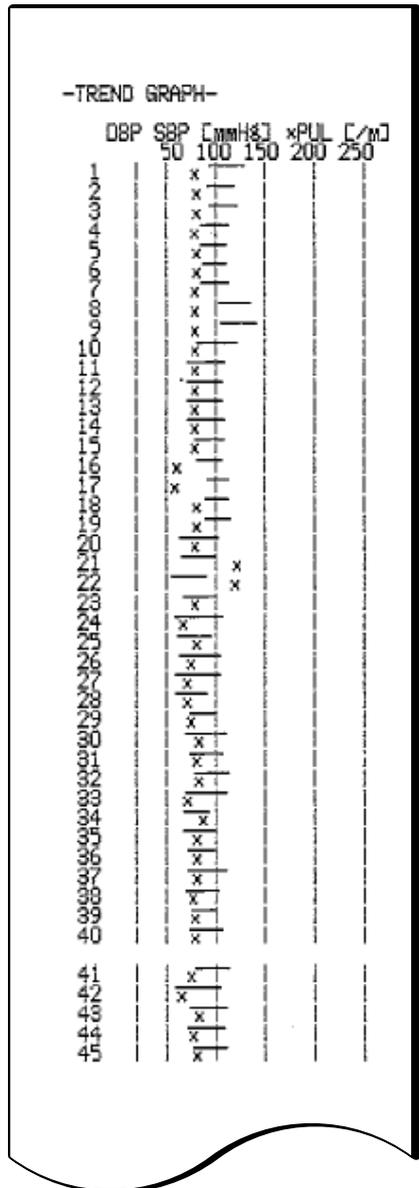
2007
  SBP DBP CmmH&] PUL [ /min]
  DATE TIME SBP DBP PUL
41 12/ 1 8:36 115 80 75
42 12/ 2 7:25 106 60 65
43 12/ 3 7:41 114 75 82
44 12/ 4 8:30 112 73 76
45 12/ 5 7:02 113 78 80

TOTAL N= 45
SBP AVE=111 S.D.= 10.0
DBP AVE= 77 S.D.= 11.9
PUL AVE= 79 S.D.= 10.3
SBP >=140 :N= 1( 2.2%)
DBP >= 90 :N= 8( 17.8%)

```

テーブル
全データを
印字します。

全データの統
計結果です。



血圧・脈拍
グラフ

- データのNo. 1から順にプロットします。
- 血圧データはSBPとDBPを結んで印字します。
- 脈拍データはx印で印字します。

9. 保守

9.1. 保守点検と安全管理

本機の始業前点検などの日常管理は、本機の性能および安全性、有効性を維持するために保守管理する必要があります。

弊社血圧計の保守点検と併せて、本機の点検をお勧めします。

9.2. 清掃

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 清掃を行う際は、必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。■ 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。 機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

本体

機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

清掃するときは、水にうすめた中性洗剤を使用してください。

血液、薬剤、汚物などが付着した時は、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

9.3. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記のチェック表および、次節のエラーコード表に該当する現象がないかお確かめください。これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
画面が全く表示しない	<ul style="list-style-type: none">■ 電池が消耗していませんか？電池を交換してください。 または専用ACアダプタは接続されていますか？
動作しない	<ul style="list-style-type: none">■ エラーコードが表示していませんか？ 「9.4 エラーコード表」を確認し、一旦電源をON/OFFしてください。
印字できない	<ul style="list-style-type: none">■ 電池が消耗していませんか？■ 紙切れしていませんか？
通信できない	<ul style="list-style-type: none">■ 本機と血圧計の通信ケーブルは接続していますか？ または赤外線通信であれば、本機背面ポケットへの血圧計の挿入方向は正しいですか？

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。

9.4. エラーコード表

エラー番号	エラー内容	トラブル発生原因 または トラブル解決方法
E 0 1	メモリ エラー	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタおよび電池を外し、もう一度差し込んでください。電源をONにしてください。 エラー表示が解消しない場合は、修理が必要です。
E 0 2		
E 1 1	通信 エラー	<ul style="list-style-type: none"> 通信ケーブルは、正しく接続していますか？ 接続している血圧計と選択しているモデルは、合っていますか？ 通信方式は正しいですか？（モデル1の場合） 通信の準備は正しく出来ていますか？（モデルにより異なります。）
E 1 2	赤外線通信 デバイスのエラー	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタおよび電池を外し、もう一度差し込んでください。電源をONにしてください。 エラー表示が解消しない場合は、修理が必要です。
E 2 1	紙詰まり エラー	<ul style="list-style-type: none"> 紙は詰まっていますか？

お知らせ

- エラーを表示した場合、本機の電源を一度ON/OFFしてください。エラー発生状態では、そのまま継続して動作しません。

9.5. 廃棄

注意



- 機器を棄却するときは、機器内にある内蔵バックアップ電池（リチウム電池）を外してください。

本機の廃棄及びリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体内部	筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の内蔵電池(バックアップ)	リチウム電池
	乾電池	単三形アルカリ乾電池 6本

10. アクセサリ

品名	型名
プリンタ用紙（5巻入り）	AX-PP147-S
通信ケーブル（モデル1、2用） ※付属ケーブルと同じ物です。	AX-KO1502
ACアダプタ	AX-TB178

11. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

12. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体 ご購入より 12 ヶ月
- オプション ご購入より 12 ヶ月

13. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、及び修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をした結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

13.1. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 弊社 ME 機器相談センターにお申し付けください。

